



トヨタ ウェルキャブシリーズ



ウェルキャブ 助手席回転チルトシート車
取 扱 書

よくお読みになってご使用ください。
取扱書は車の中に保管しましょう。

PORTE
SPADE



1 安全・安心のために

お客様に必ずお読みいただきたいこと

2 助手席回転
チルトシート

助手席回転チルトシートに関する説明

3 車いすの収納・固定／
車いす収納装置

車いすの収納・固定方法と車いす収納装置に関する説明

4 万一の場合には

故障したときや、緊急時などの対処

5 点検・整備項目

定期点検整備についての説明

イラスト目次	4
本書の見方	8

1 安全・安心のために

1-1. 安全なドライブのために	
助手席回転チルトシートについて	10
車いすの固定について	14

2 助手席回転チルトシート

2-1. 助手席回転チルトシート	
助手席回転チルトシートの調整	16
ヘッドレスト	18
アームレスト	20
シートベルト	21
正しい乗車姿勢	22
2-2. 操作のしかた	
助手席回転チルトシートの操作をするときは	23
助手席回転チルトシートを車外に出すときは	26
助手席回転チルトシートを車内にもどすときは	31

3 車いすの収納・固定／車いす収納装置

3-1. 準備

車いすの収納・固定前の準備	38
---------------------	----

3-2. 車いすの収納・固定 (A タイプ)

収納のしかた (A タイプ)	42
車外への出しかた (A タイプ)	46

3-3. 車いすの収納・固定／車いす収納装置 (B タイプ)

車いす収納装置 (B タイプ)	48
操作スイッチ (B タイプ)	49
収納のしかた (B タイプ)	50
車外への出しかた (B タイプ)	60

3-4. ラゲージルーム内装備

デッキボードを開閉するときは (A タイプ)	66
車いす収納装置の跳ね上げ (B タイプ)	67

4 万一の場合には

4-1. 故障かな？とお考えになる前に

- ヒューズの交換（B タイプ）.... 74
- 助手席回転チルトシートが
動かないときは 76
- 車いす収納装置が動かないときは
(B タイプ) 77

4-2. 緊急時の対処法

- 助手席回転チルトシートが
車外に出た状態で
動かないときは 81
- 車いす収納装置が車外に
出た状態で動かないときは
(B タイプ) 85

5 点検・整備項目

5-1. 点検・整備項目

定期点検整備 92

さくいん

- こんなときは
(症状別さくいん) 96
- 五十音順さくいん 100

本書はウェルキャブ 助手席回転チルトシート車の装備について記載しています。
車両全体の取り扱い方法や注意事項などは、必ず別冊の標準車取扱書をお読みください。

ただし、ウェルキャブ装備により、お車と標準車取扱書の仕様や機能が一致しない場合がありますのでご了承ください。

1

2

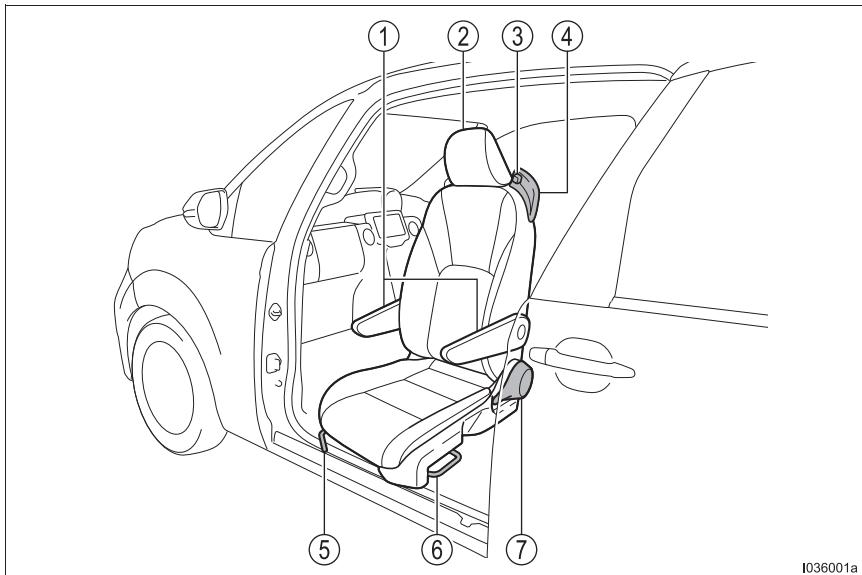
3

4

5

イラスト目次

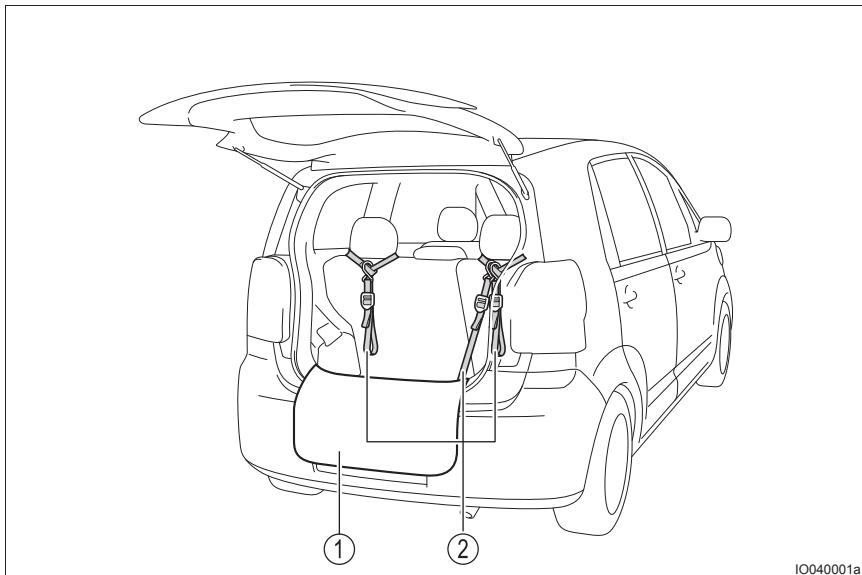
■助手席回転チルトシート



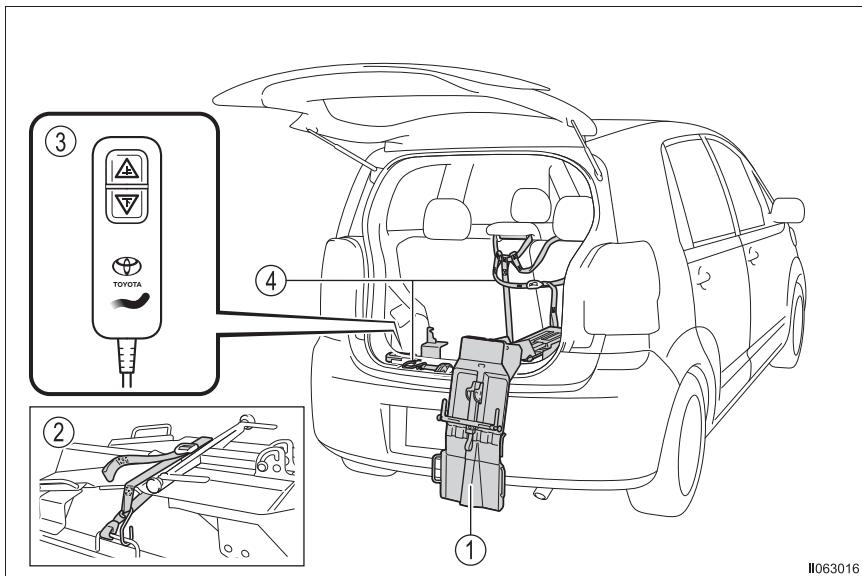
I036001a

- | | |
|--------------------|-----------|
| ① アームレスト | P. 20 |
| ② ヘッドレスト | P. 18 |
| ③ チルトボタン | P. 28, 31 |
| ④ チルトグリップ | P. 28, 31 |
| ⑤ スライドレバー | P. 16 |
| ⑥ 回転スライドレバー | P. 26, 32 |
| ⑦ リクライニングレバー | P. 16 |

■車いすの収納・固定（A タイプ）



- | | |
|------------------|-----------|
| ① ガードマット | P. 42, 46 |
| ② 車いす固定ベルト | P. 42, 46 |
| 固定のしかた | P. 43, 47 |
| 解除のしかた | P. 42, 46 |
| 車両への取り付け | P. 39 |

■車いすの収納・固定（B タイプ）

- | | |
|-----------------------|-----------|
| ① 車いす収納装置 | P. 48 |
| 車外に出た状態で動かないときは | P. 85 |
| ② 車いす収納装置固定ベルト | P. 48 |
| ③ 操作スイッチ | P. 48, 49 |
| ④ 車いす固定ベルト | P. 48 |
| 固定のしかた | P. 54, 64 |
| 解除のしかた | P. 50, 60 |
| 車両への取り付け | P. 39 |

本書の見方



警告 お守りいただかないと、お客様自身と周囲の人々が死亡、または重大な傷害につながるおそれがあることを説明しています。



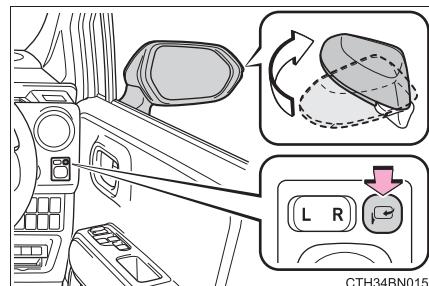
注意 お守りいただかないと、車や装備品の故障や破損につながるおそれがあることを説明しています。



1 2 3… 操作・作業の手順を示しています。番号の順に従ってください。

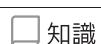
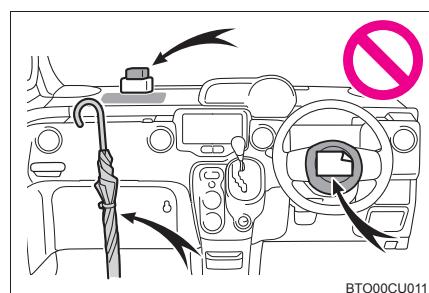
➡ 押す・まわすなど、していただきたい操作を示しています。

➡ フタが開くなど、操作後の作動を示しています。



➡ 説明の対象となるもの・場所を示しています。

🚫 “してはいけません” “このようにしないでください” “このようなことを起こさないでください” という意味です。



知識 機能や操作方法の説明以外で知っておいていただきたい、知っておくと便利なことを説明しています。

安全・安心のために ～必ずお読みください～

1

1-1. 安全なドライブのために	
助手席回転チルトシートについて	10
車いすの固定について	14

助手席回転チルトシートについて

本書におけるウェルキャブ 助手席回転チルトシート車の操作はすべて介助の方が行ってください。

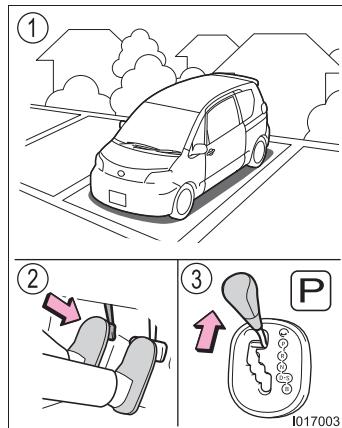
この項目では、助手席回転チルトシートについて、必ず守っていただきたいことをまとめています。

⚠️ 警告

■操作および車いすを収納するときは

不整地や傾斜地で操作しないでください。
車いす・助手席回転チルトシートからの転落や、車いす収納時に車いすが傾いて体や車両にあたるなど、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

- ① 平坦な場所で操作
- ② パーキングブレーキを確実にかける
- ③ シフトレバーを P の位置にする



■操作する前に

必ずスライドドアを全開にしてください。
全開にしないと助手席回転チルトシート操作時、シート乗車の方や介助の方の手がスライドドアとシートのすき間に挟まれ、けがをするおそれがあります。
また、シートとスライドドアが干渉し、損傷するおそれがあります。



⚠ 警告

■ チャイルドシートの装着禁止

助手席回転チルトシートにチャイルドシートを装着しないでください。
装置の破損や、お子さまが重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。



■ 乗り降りするときは

乗り降りする方の頭上の十分な安全確認をしてください。

ドア開口部に頭部をあて、けがをするおそれがあります。

- ① 乗車時
- ② 降車時



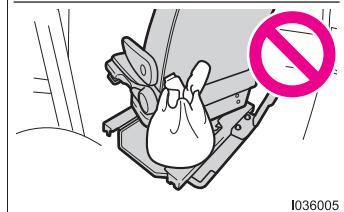
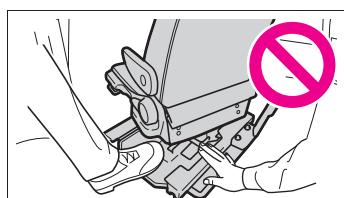
⚠ 警告

■操作するときは

- 正しい姿勢で乗車してください。
(→ P. 22)
- 乗員の体が車両に接触しないように、十分な安全確認をしてください。
助手席回転チルトシートを回転・チルトさせると同時に、頭や手足をドア開口部にあてるなど思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
 - ① ドア開口部と頭部の接触に注意する
 - ② インストルメントパネルに手や足をぶつけないように注意する
 - ③ スライドドアと助手席回転チルトシートのすき間に手を挟まれないように注意する
 - ④ インストルメントパネルと助手席回転チルトシートのすき間に挟まれないように注意する
 - ⑤ ドア開口部と足の接触に注意する
- 助手席回転チルトシート作動時、助手席回転チルトシートの下および周辺に手足や荷物を入れないでください。
手足を挟まれかけがをしたり、荷物やシートを損傷するおそれがあります。



I036004a



I036005

⚠ 警告

■ 助手席回転チルトシートを車内にもどしたときは

助手席回転チルトシートを前後左右にゆすり、シートが確実に格納位置で固定されているか確認してください。
確実に固定されていないと、走行中にシートが動き、思わぬ事故の原因になって重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。



TTT11BZ008

■ 助手席回転チルトシート乗員のシートベルトの着用

走行前に必ずシートベルトを正しく着用してください。(→標準車取扱書の『シートベルト』)

正しく着用しないと、急ブレーキをかけたときや衝突したときなどにシートベルトが十分な効果を発揮せず、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。



TTT11BZ009

車いすの固定について

車いすの固定について、必ず守っていただきたいことをまとめてあります。



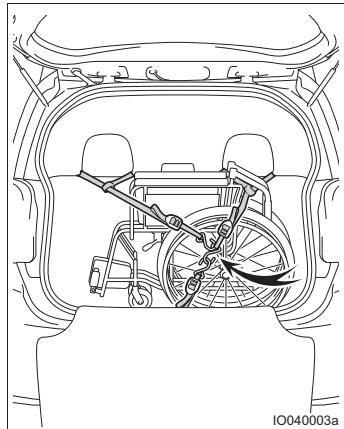
警告

■ 車いす・車いす収納装置の固定確認

▶ A タイプ

確実に固定されているか確認してください。急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに車いすが車室内にとび込んだり、車いすが動いて車両や車いすが損傷するなど、重大な事故につながるおそれがあり危険です。

また、車いす固定ベルトにねじれがないことも確認してください。

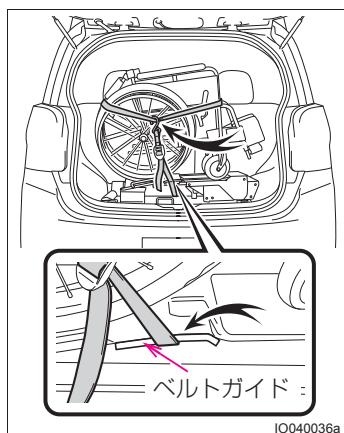


IO040003a

▶ B タイプ

確実に固定されているか確認してください。急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに車いすが車室内にとび込んだり、車いすが動いて車両や車いすが損傷するなど、重大な事故につながるおそれがあり危険です。

また、車いす固定ベルトにねじれがないことや、車いす収納装置のベルトガイドにかかるていることも確認してください。



IO040036a

助手席回転チルトシート

2

2-1. 助手席回転チルトシート

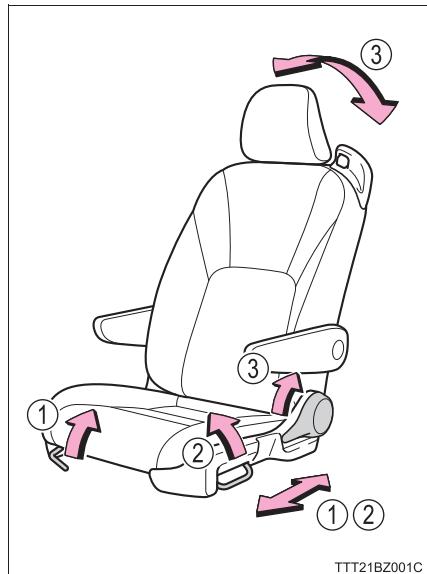
助手席回転チルトシートの 調整	16
ヘッドレスト.....	18
アームレスト.....	20
シートベルト.....	21
正しい乗車姿勢.....	22

2-2. 操作のしかた

助手席回転チルトシートの 操作をするときは	23
助手席回転チルトシートを 車外に出すときは	26
助手席回転チルトシートを 車内にもどすときは	31

助手席回転チルトシートの調整

- ① 前後位置調整
(スライドレバー)
- ② 前後位置調整
(回転スライドレバー)
- ③ リクライニング調整
(リクライニングレバー)



■ 知識

■ 助手席回転チルトシートの前後スライド量について

回転開始位置から後方に 90mm 移動することができます。

■ 助手席回転チルトシートのリクライニング角度について

- 助手席回転チルトシートのリクライニング角度は標準車の助手席シートとは異なります。

- 助手席回転チルトシートは車両前方にリクライニングしません。

■ シートアレンジについて

助手席回転チルトシートはフラットシートにすることはできません。

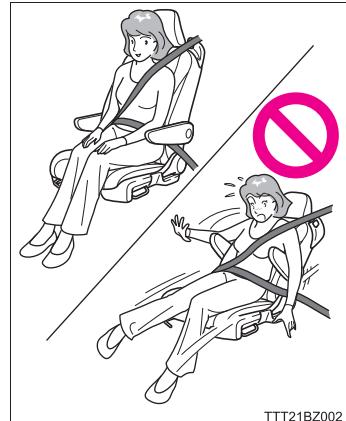
■ 回転スライドレバーについて

助手席回転チルトシートがいちばん前に移動した状態で回転スライドレバーを操作すると、シートが回転します。(\rightarrow P. 26)

⚠️ 警告

■助手席回転チルトシート調整について

- 助手席回転チルトシートが乗員や荷物にあたらないように注意してください。
- 背もたれにもたれかかったままリクライニング調整をしないでください。
背もたれに力が加わっていると、レバー操作が重かったり、突然背もたれが倒れるおそれがあります。
- 走行中は背もたれを必要以上に倒さないでください。
事故のときに体がシートベルトの下にもぐり、腹部などに強い圧迫を受けるなど生命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。



- 背もたれをもどすときは、背もたれを押さえながらリクライニングレバーを操作してください。
背もたれを押さえずにレバーを操作すると背もたれが急にもどり、けがをするおそれがあります。
- 調整後は、助手席回転チルトシートを前後左右にゆすり、シートが確実に固定されているか確認してください。
確実に固定されていないと、走行中にシートが動き、思わぬ事故の原因になって重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
- スライドドアが閉まっている状態では回転スライドレバーで助手席回転チルトシートの前後位置調整をしないでください。
いちばん前の位置に移動したときにシートが回転してスライドドアにあたり、けがをしたりシートおよびスライドドアを損傷するおそれがあります。

⚠️ 注意

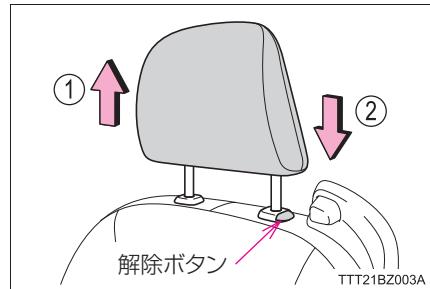
■故障などを防ぐために

- チルトボタン・回転スライドレバー・スライドレバーを同時に操作しないでください。
- 正しい位置に助手席回転チルトシートが移動しなくなるおそれがあります。

ヘッドレスト

解除ボタンを押しながら操作します。

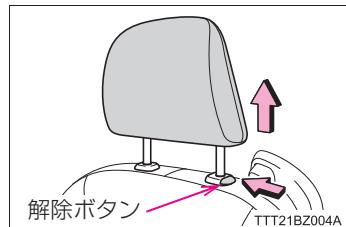
- ① 上げる
- ② 下げる



知識

■ ヘッドレストを取りはずすときは

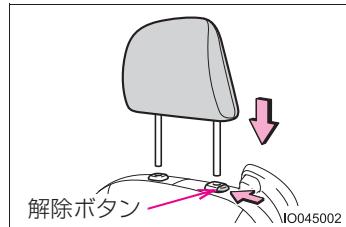
解除ボタンを押しながらヘッドレストを引き上げます。



■ ヘッドレストを取り付けるときは

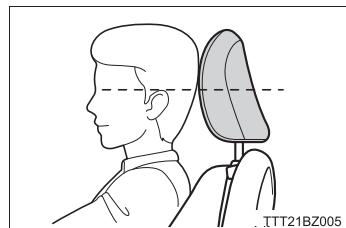
ヘッドレストを取り付け穴に合わせて、ロック位置まで押し下げてください。

さらに下げるときは、解除ボタンを押しながら操作してください。



■ ヘッドレストの高さについて

必ずヘッドレストの中心が両耳のいちばん上のあたりになるように調整してください。



⚠️ 警告

■ ヘッドラストについて

次のことをお守りください。

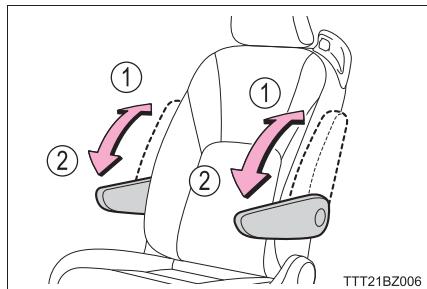
お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- ヘッドラストは、それぞれのシート専用のものを使用する
- ヘッドラストは正しい位置に調整する
- ヘッドラストを調整したあとは、ヘッドラストを押し下げて固定されていることを確認する
- ヘッドラストをはずしたまま走行しない

アームレスト

助手席回転チルトシートの回転およびチルト操作は、アームレストをいっぱいまで下げる状態で行います。

- ① 上げる
- ② 下げる



□ 知識

■ シートベルトの着用について

アームレストを上げた状態にすると、シートベルトの着用が容易になります。

⚠ 警告

■ シートベルトを着用するときは

シートベルトは腰部ベルトをアームレストの下に通して正しく着用してください。
アームレストにかかった状態で着用すると、急ブレーキをかけたときや衝突したときなどにシートベルトが十分な効果を発揮せず、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。



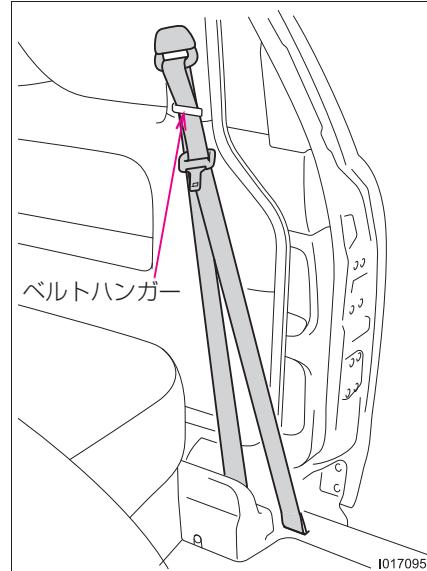
シートベルト

助手席用シートベルト

■ シートベルト位置

助手席回転チルトシート左側に装備されます。

着用方法は標準車と同様ですの
で、標準車取扱書の『シートベル
ト』をお読みください。



■ シートベルトを使用しないときは ベルトハンガーにかけておきます。

正しい乗車姿勢

次のように正しい姿勢で乗車してください。

- ① 背もたれをいちばん起こした状態で背もたれにもたれ、ヘッドレストに頭をつけて座る
- ② アームレストを下げ、両腕をアームレストの内側におく
- ③ 両ひざをそろえて助手席回転チルトシートの内側に収まるように座る
- ④ 足が助手席回転チルトシートとボデーのあいだに挟まれないようにする

介助の方が足を支えてください。



⚠️ 警告

■ 乗車のときは

助手席回転チルトシートに深く着座できない方、ひざや首が曲がらない方の場合、足や頭がボデーにあたり、座った状態でのシートの回転が困難になりますので、ご注意ください。

助手席回転チルトシートの操作をするときは

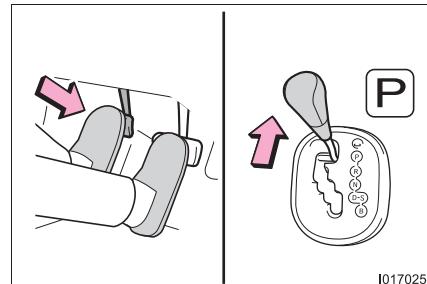
助手席回転チルトシートは、シートを車外に回転後、下にチルトさせることができます。

操作はすべて介助の方が行ってください。

格納後は助手席回転チルトシートを前後左右にゆすり、確実に格納位置で固定されたことを確認してください。

助手席回転チルトシートを操作する前に

- ① 安全で平坦な場所に停車し、パークリングブレーキをかけ、シフトレバーを P の位置にする



I017025

- ② 助手席回転チルトシートの周囲および作動範囲内に、人や荷物がないことを確認する

- ③ 助手席回転チルトシートのシートベルトをはずす

- ④ 助手席回転チルトシートの回転・チルト操作をするときは、シートを次の状態に調整する

① ヘッドレストをいちばん下げた位置にする

② 背もたれをいちばん起こした位置にする



TTT22BZ001

③ アームレストをいちばん下げた位置にする

- ⑤ 室内装備が次の状態になっていることを確認する

- ・ グローブボックスのフタが閉まっていること
- ・ 助手席カップホルダーが格納されていること
- ・ サンバイザーが格納されていること
- ・ 買い物フックに荷物がかかっていないこと

⚠️ 警告

■助手席回転チルトシートを操作する前に

- 助手席回転チルトシートに深く着座できない方、ひざや首が曲がらない方の場合は、足や頭がボデーにあたり、座った状態でのシートの回転が困難になりますのでご注意ください。
- 必ず平坦な場所でパーキングブレーキを確実にかけ、シフトレバーをPの位置にしてください。 (→ P. 10)
車いすや助手席回転チルトシートから転落するなど思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

- 必ず助手席側リヤシートの同乗者の安全を確認してください。

助手席回転チルトシートを操作するとき、シートと車両のあいだに足を挟まれるなど、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。



I036020

- 必ずスライドドアを全開にしてください。全開にしないと助手席回転チルトシート操作時、シート乗車の方や介助の方の手がスライドドアとシートのすき間に挟まれ、けがをするおそれがあります。

また、シートとスライドドアが干渉し、損傷するおそれがあります。



I036002a

- 助手席回転チルトシートのシートベルトが確実にはずしてあること、およびシートベルトがアームレストに引っかかっていないことを確認してください。シートベルトがアームレストに引っかかったままシートを操作すると、シートベルトが体にかかってけがをしたり、シートが故障するおそれがあります。

■助手席回転チルトシートを操作するときは

- 助手席回転チルトシート乗車の方の頭上や手足に注意してください。

頭をドア開口部にあてたり、ひざや腕をインストルメントパネルやドア開口部にあてるなど思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。 (→ P. 12)



I036010

警告

■助手席回転チルトシートを操作するときは

- 助手席回転チルトシート作動時、シートの下および周辺に手足や荷物を入れないでください。
手足を挟まれけがをしたり、荷物やシートを損傷するおそれがあります。
(→ P. 12)
- 助手席回転チルトシートを持って操作してください。
シートの下に手を入れると、手を挟まれけがをするおそれがあります。
- 助手席回転チルトシートのチルトグリップを持って操作する場合、勢いよく操作しないでください。
ボデーと腕があたりけがをするおそれがあります。
- 必ずアームレストをいちばん下げた位置で、使用してください。
正しく使用しないと乗車姿勢が不安定になったり、転落のおそれがあります。
(→ P. 22)
- 助手席カップホルダーを格納してください。
助手席回転チルトシート乗車の方の腕や足がカップホルダーにあたってけがをしたり、カップホルダーが破損するおそれがあります。
- グローブボックスのフタを閉じてください。
助手席回転チルトシート乗車の方の手足がフタにあたってけがをしたり、フタが破損するおそれがあります。
- サンバイザーを格納してください。
サンバイザーに頭やヘッドレストをあてるなど思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

■チャイルドシートの装着禁止

→ P. 11

注意

■故障・破損などを防ぐために

- チルトボタン・回転スライドレバー・スライドレバーを同時に操作しないでください。
正しい位置に助手席回転チルトシートが移動しなくなるおそれがあります。
- 助手席回転チルトシートを操作する前に、可動部周辺に障害物がないことを確認してください。
- 買い物フックに荷物がかかったまま、操作しないでください。

助手席回転チルトシートを車外に出すときは

- ① スライドドアを全開にする
- ② 操作前に、次の状態を確認する
 - ・ 助手席回転チルトシートに乗車している方が正しい乗車姿勢であること
(→ P. 22)
 - ・ 助手席回転チルトシートでシートベルトを着用していないこと
 - ・ 助手席回転チルトシートおよび車両の状態 (→ P. 23)
 - ・ 助手席側リヤシート同乗者の安全 (→ P. 24)
- ③ 回転スライドレバーを引き上げたままチルトグリップを持ち、シートをいちばん前まで移動させる



4 助手席回転チルトシートを中間ロック位置まで回転させる

- ① 回転スライドレバーを引き上げてロックを解除する

シートが動き始めたら、回転スライドレバーから手を離します。

- ② チルトグリップを持ち、中間ロック位置までシートを回転させる

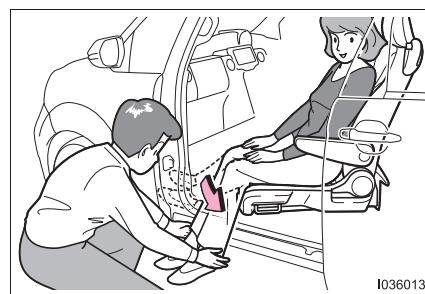
シートが中間ロック位置でロックしたことを確認します。



I036012

5 助手席回転チルトシート乗車の方の足を車外へ出す

介助の方が乗車の方の足を車外に出てください。



I036013

6 助手席回転チルトシートを回転完了位置まで回転させる

- ① 再度回転スライドレバーを引き上げ、ロックを解除する

シートが動き始めたら、回転スライドレバーから手を離します。

- ② チルトグリップを持ち、ロックする位置まで回転させる

シートが回転完了位置でロックしたことを確認します。



I036014

7 助手席回転チルトシート乗車の方が背もたれにもたれ、ヘッドレストに頭をつけた状態で座っていることを確認する（→ P. 22）

8 助手席回転チルトシートを下にチルトさせる

- ・チルトボタンを押しながらチルトグリップを持ち、車外方向に引き出します。
- ・シートが動き始めたらチルトボタンから手を離します。
- ・下にチルトが完了するとシートがロックし、シート乗車の方は立ち上がりやすくなります。



I036015

 知識**■助手席回転チルトシートの回転操作について**

- 助手席回転チルトシートの前後位置がいちばん前以外の位置では、シートを回転させることはできません。
- 助手席回転チルトシートを回転させるときは、シート回転方向に力を加えた状態で回転スライドレバーを引かないでください。回転スライドレバーおよびシートの引っかかりが発生し、シートが回転させられません。
- 回転スライドレバーを操作したままだと助手席回転チルトシートがロックされません。シートが動き始めたら、回転スライドレバーから手を離してください。
- 助手席回転チルトシートを車外に回転させるときは、左手を回転スライドレバーに添え、右手でチルトグリップを車両前方に押しながら回転させると操作が容易になります。
- 人が乗った状態で助手席回転チルトシートを車外に出すとき、回転完了位置まで回転させる前にチルトボタンを押すと、シートを回転させている途中で下に少しチルトすることがあります、故障ではありません。そのままシートを回転完了位置まで回転させ、下にチルトさせてください。

■助手席回転チルトシートのチルト操作について

- 助手席回転チルトシートが車外の回転完了位置まで回転していないと、シートを下にチルトさせることができません。
- 助手席回転チルトシートが車外の回転完了位置より少し手前で下にチルトさせようとすると、シートが下にチルト可能であると同時に、回転スライドレバーを操作しなくてもシートが回転できてしまいますが、故障ではありません。万一、シートが下に少しチルトした状態でシートが回転してしまったときは、いったんチルトをもどし、シートを車外の回転完了位置まで回転させてから、再度チルト操作をしてください。
- チルトボタンを押したままだと助手席回転チルトシートがロックされません。シートが下にチルトし終わる前に、チルトボタンから手を離してください。
- チルトボタンをしっかりと押さずに助手席回転チルトシートを下にチルトさせると、シートが途中で停止することがあります。下にチルトをしている途中でシートが停止したときはチルトボタンをしっかりと押し直し、チルト操作を続けてください。

警告

■ 助手席回転チルトシートを操作する前に

→ P. 24

■ 助手席回転チルトシートを操作するときは

→ P. 24

■ 助手席回転チルトシートを車外に出すときは

- 助手席回転チルトシートを勢いよく回転させたり傾けたりしないでください。スライドドアやドア開口部などにシート乗車の方の頭や足があたり、けがをするおそれがあります。

- 回転スライドレバーとチルトボタンを同時に操作しないでください。チルトボタンを押したまま助手席回転チルトシートを回転させると、回転完了後、シートが突然傾き、シートから転落するなど重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

- シートが動き始めたら回転スライドレバーから手を離し、中間ロック位置でシート乗車の方の足を車外に出してください。足が車内に残ったままシートを回転させると、けがをするおそれがあります。

■ チルト操作時の乗車姿勢について

チルト操作時は助手席回転チルトシート乗車の方が背もたれにもたれ、頭をヘッドレストにつけていることを確認してください。(→ P. 22)

- シートから背中および頭が離れた状態でチルト操作をすると、頭をドア開口部にあてたり、降車時、姿勢が不安定になり、転落するなど重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

- シート前端に座っていると機構上、チルトボタンが固くて押せなくなります。

- ・ 正しい乗車姿勢で座ってください。
- ・ 正しい乗車姿勢で座ることが困難な場合は、チルトをもどす方向にチルトグリップを押しながら、チルトボタンを押してください。

この場合、シートが急に下にチルトし、シート乗車の方が転落するなど重大な傷害を受けるおそれがありますので、操作時は十分注意してください。

注意

■ 故障や損傷を防ぐために

助手席回転チルトシートを車外に出したまま放置しないでください。

特に炎天下・雨天・寒冷時などにおいて、カバー類の変形や凍結、錆び付きなどのおそれがあります。

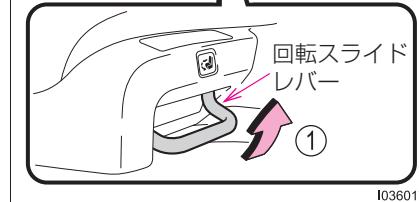
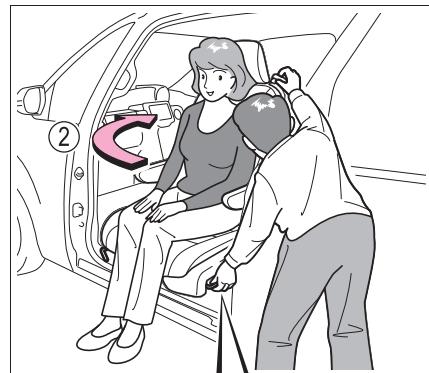
助手席回転チルトシートを車内にもどすときは

- 1** 助手席回転チルトシートが下にチルトした状態で確実にロックされていることを確認する。
- 2** 操作前に、次の状態を確認する
 - ・スライドドアが全開になっていること
 - ・助手席回転チルトシートおよび車両の状態 (→ P. 23)
 - ・助手席側リヤシート同乗者の安全 (→ P. 24)
- 3** 助手席回転チルトシートに正しい乗車姿勢で座る (→ P. 22)
背もたれにもたれ、ヘッドレストに頭をつけた状態で座ります。
- 4** 助手席回転チルトシートのチルトをもどす
 - ・チルトボタンを押しながらチルトグリップを持ち、車内方向に押し込みます。
 - ・シートが動き始めたらチルトボタンから手を離します。
 - ・チルトをもどし終わったら、シートを押し込み、確実にロックしたことを確認します。



5 助手席回転チルトシートを中間ロック位置まで回転させる

- ① 回転スライドレバーを引き上げてロックを解除する
シートが動き始めたら、回転スライドレバーから手を離します。
- ② チルトグリップを持ち、中間ロック位置までシートを回転させる



I036017

6 助手席回転チルトシート乗車の方の足を車内に入れる

介助の方が乗車の方の足を車内に入れてください。



I036018

7 助手席回転チルトシートを車内に回転させ、格納する

- ① 回転スライドレバーを引き上げてロックを解除する

シートが動き始めたら、回転スライドレバーから手を離します。

- ② チルトグリップを持ち、格納位置までシートを回転させる

シートを前後左右にゆすり、格納位置で確実にロックしたことを確認します。



8 必要に応じて助手席回転チルトシートの調整 (→ P. 16 ~ 20) をし、走行前に必ずシートベルトを着用する (→ P. 13, 21)

正しくシートベルトを着用していることを介助の方が確認してください。

9 スライドドアを閉める

 知識**■ 助手席回転チルトシートのチルト操作について**

- シート前端に座っているとチルトがもどしにくくなります。
正しい乗車姿勢で座ってください。
- チルトボタンを押したままだと助手席回転チルトシートがロックされません。
シートのチルトがもどりきる前に、チルトボタンから手を離してください。
- チルトボタンをしっかりと押さずに助手席回転チルトシートのチルトをもどし始めると、シートが途中で停止することがあります。チルトをもどす途中でシートが停止したときはチルトボタンをしっかりと押し直し、チルト操作を続けてください。
- 助手席回転チルトシートに人が乗っていない状態でチルトボタンを押すとゆっくりチルトがもどります。

■ 助手席回転チルトシートの回転操作について

- 助手席回転チルトシートはチルトをもどし終わり、ロックされた位置以外では回転させることはできません。
- 助手席回転チルトシートを車内に回転させている途中で停止した場合、チルトをもどし終わっていない可能性があります。チルトボタンを押し、チルトをもどし終わるまでシートを押し込み、確実にロックさせてください。
シートのチルトをもどせない場合、再度車外に回転させてからチルトをもどしてください。
- 回転スライドレバーを操作したままだと助手席回転チルトシートがロックされません。シートが動き始めたら、回転スライドレバーから手を離してください。
- 助手席回転チルトシートを車内に回転させるとときは、左手を回転スライドレバーに添え、右手でチルトグリップを車両後方に引きながら回転させると操作が容易になります。

■ 助手席回転チルトシートの前後位置調整について

助手席回転チルトシートが車内に完全に回転していないと、シートの前後位置調整をすることができません。

警告

■ 助手席回転チルトシートを操作する前に

→ P. 24

■ 助手席回転チルトシートを操作するときは

→ P. 24

■ 助手席回転チルトシートを車内にもどすときは

- 助手席回転チルトシートのチルトをもどすときは、チルトボタンをしっかり押してからシートのチルトをもどしてください。チルトをもどす方向に力を加えた状態だと、チルトボタンが固くて押せなくなったり、突然チルトがもどり、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

- 助手席回転チルトシートを勢いよく押し込んだり回転させたりしないでください。シート乗車の方がドア開口部などにあたり、けがをするおそれがあります。

■ チルト操作時の乗車姿勢について

チルト操作時は助手席回転チルトシート乗車の方が背もたれにもたれ、頭をヘッドレストにつけていることを確認してください。（→ P. 22）

■ 助手席回転チルトシートを車内にもどしたときは

→ P. 13

注意

■ 故障や損傷を防ぐために

助手席回転チルトシートに乗車するときはゆっくりと座ってください。
飛び乗るなど勢いをつけて座ると、シートが故障するおそれがあります。

車いすの収納・固定／ 車いす収納装置

3

3-1. 準備

車いすの収納・固定前の 準備	38
-------------------------	----

3-2. 車いすの収納・固定 (A タイプ)

収納のしかた (A タイプ)	42
車外への出しかた (A タイプ)	46

3-3. 車いすの収納・固定／

車いす収納装置 (B タイプ)

車いす収納装置 (B タイプ)	48
操作スイッチ (B タイプ)	49
収納のしかた (B タイプ)	50
車外への出しかた (B タイプ)	60

3-4. ラゲージルーム内装備

デッキボードを開閉 するときは (A タイプ)	66
車いす収納装置の跳ね上げ (B タイプ)	67

車いすの収納・固定前の準備

A タイプと B タイプでは車いすの収納・固定方法が異なります。
お乗りのお車に該当するページをお読みください。

◆ A タイプ

→ P. 38, 42, 46, 66

ラゲージルーム内に収納した車いすをベルトで固定できます。

◆ B タイプ

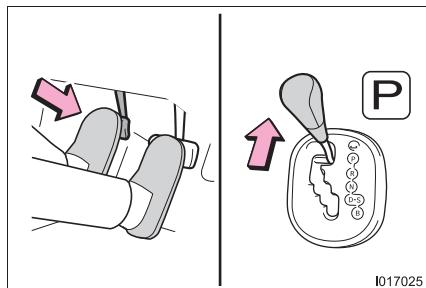
→ P. 38, 48, 49, 50, 60, 67

- ・車いす収納装置は 35kg まで収納することができ、車いすのラゲージルーム内への出し入れを補助します。
- ・ラゲージルーム内に収納した車いすをベルトで固定できます。

車いすを出し入れする前に

- ① 安全で平坦な場所に停車し、パークリングブレーキをかけ、シフトレバーを P の位置にする

B タイプにお乗りの方は、エンジンをかけたままにしておきます。



- ② バックドアを全開にする

- ③ リヤシートの背もたれをいちばん起きた位置にする
(→標準車取扱書の『リヤシート』)

車いす固定ベルトの車両への取り付け

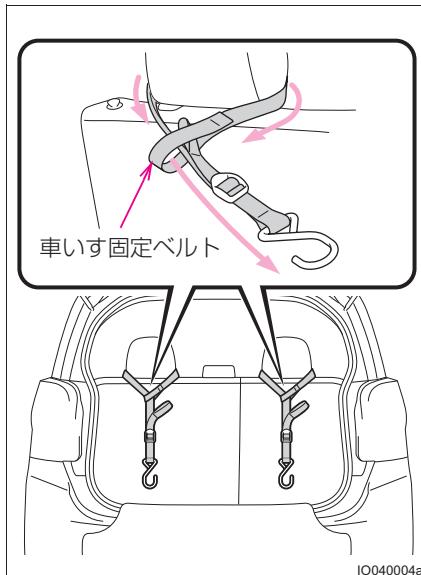
車いす固定ベルトが車両に取り付けられていない場合は、以下の手順で取り付けてください。

- 1 車いす固定ベルトをラゲージルームから取り出す**
- 2 車いす固定ベルトを確実にリヤシートのヘッドレストに取り付ける**

バックルが手前（車両後方）側を向いていることを確認します。

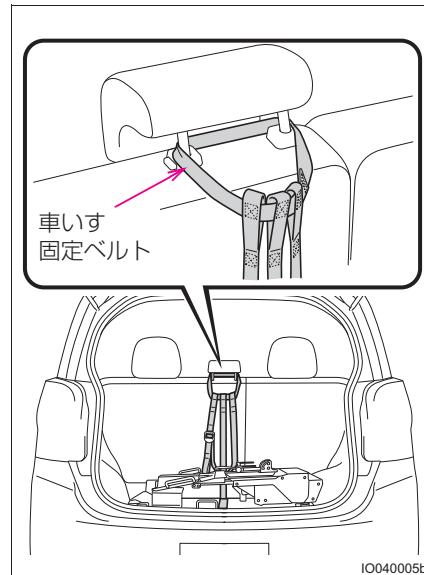
バックルが奥（車両前方）側を向いている場合は、車いす固定ベルトの取り付けをやり直してください。

▶ A タイプ



左右席のヘッドレストに、取り付けてください。

▶ B タイプ



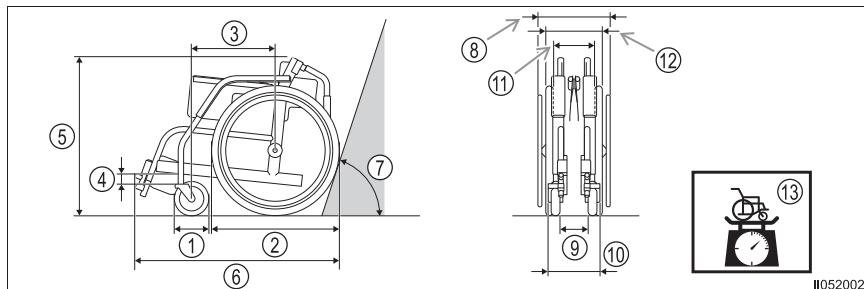
中央のヘッドレストに、取り付けてください。

 知識

■ 収納可能な車いすのサイズ

収納可能な車いすは、次のサイズになります。

B タイプにお乗りの方は、車いす収納装置で収納可能な車いすのサイズになります。



II052002

項目	A タイプ	B タイプ
① キャスター径	—	4 ~ 7 インチ
② 大車輪径	—	14 ~ 24 インチ
③ 前後車輪距離	—	340 ~ 420mm
④ キャスターとフレーム間距離	—	20mm 以上
⑤ 全高 ^{※1}	700mm 以下	
⑥ 全長 ^{※2}	1000mm 以下	
⑦ 角度 ^{※3}	—	72°
⑧ 折りたたみ幅	360mm 以下	
⑨ キャスター間距離	—	60mm 以上
⑩ キャスター幅 ^{※4}	—	290mm 以下
⑪ 大車輪距離	—	110mm 以上
⑫ 大車輪幅	—	310mm 以下
⑬ 重量	—	35kg 以下

^{※1} 全高は車いすの手押しハンドルをたたんだ状態の寸法です。

^{※2} 全長は車いすの手押しハンドルと転倒防止バーをたたんだ状態の寸法です。

^{※3} 角度の中に車いすが入っている場合、車いすをセットするときに地面にあたるおそれがあります。 (→ P. 59)

^{※4} キャスター幅は左右のキャスターの外側のキャスターフォークからの寸法になります。

■ バックドアについて

全開にしないと、車いす収納時、バックドアと車いすがあたり、車いすの収納が困難になります。



警告

■ 車いすを収納・固定するときは

必ず平坦な場所でパーキングブレーキを確実にかけ、シフトレバーを P の位置にしてください。 (→ P. 10)

車いすが傾いて体や車体にあたるなど、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。



注意

■ 損傷を防ぐために

車いすを収納する前に次のことを確認してください。

お守りいただかないとき、車いすの収納が困難になるばかりでなく、荷物や車いすを損傷するおそれがあります。

- ラゲージルーム内に荷物がないこと
- リヤシートの背もたれをいちばん起こした位置にしていること

■ バッテリーあがりを防ぐために (B タイプ)

車いす収納装置の操作をするときは、エンジンをかけておいてください。
エンジンを停止した状態で操作すると、バッテリーあがりの原因になります。

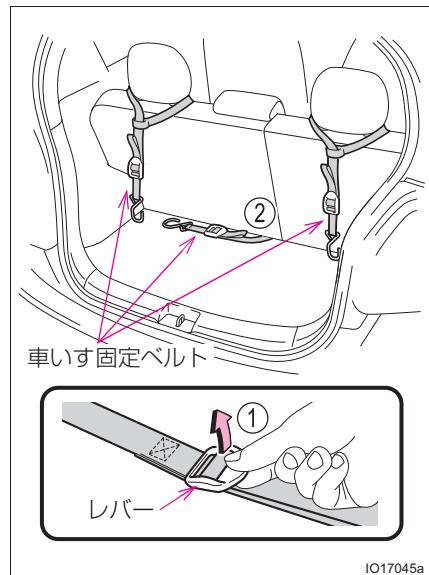
収納のしかた（A タイプ）

車いすを収納するときは次のように行ってください。

車いすを車内に入れるときは

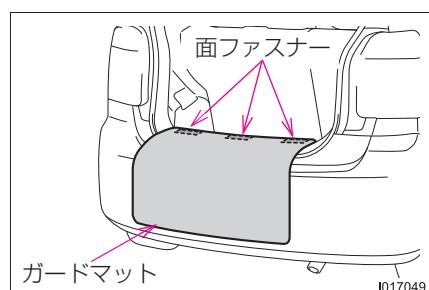
- ①** 車いす固定ベルトをゆるめて、ラゲージルーム内に何も置かれていない状態にする

- ① すべての車いす固定ベルトのバックルのレバーを引き上げて、十分にのばす
- ② 下側の車いす固定ベルトをラゲージルームのすみによせる



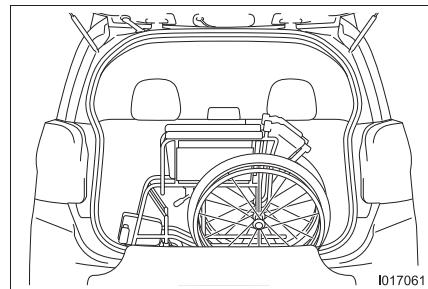
- ②** ガードマットの面ファスナーを床面に貼り付ける

車いす収納時、バンパーの傷付きを防止します。



- 3** 車いすのブレーキを両輪ともかけ、車いすを折りたたんだ状態で収納する

車いすを立てたまま後輪側を右にして収納します。



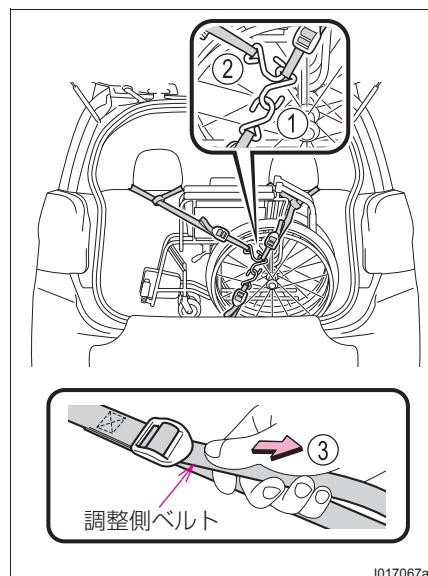
I017061

車いすの固定のしかた

車いす固定ベルトを使用して車いすを固定します。

ベルトのフックは次の場所を目安に引っかけてください。

- ① 上側の車いす固定ベルト（右席側）と下側の車いす固定ベルトのフックを引っかける
- ② 上側の車いす固定ベルト（左席側）のフックを図の場所を目安に引っかける
- ③ 調整側ベルトを引っ張り、車いすを確実に固定する（3本とも）



I017067a

固定後、走行する前に

- ① ガードマットをラゲージルーム内に収納する
- ② バックドアを閉める

バックドアを閉めるときは、車いすを挟み込まないこと、および車いすの手押しハンドルなどがリヤウインドウガラスにあたらないことを確認しながら、ゆっくりと閉めてください。

 知識

■車いす固定ベルトについて

車いすを収納するときは、車いす固定ベルトをラゲージルーム内中央に放置しないでください。車いす収納時、車いすの下敷きになり、車いす固定ベルトの操作が困難になります。

 警告

■車いすを収納するときは

手などを挟んだり、車いすや車両に体があたらないように注意してください。

■車いすを固定・解除するときは

車いすに手を添えて、車いすが動かないようにしてください。

車いすが倒れて体にあたるなど、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

■車いすを固定したときは

固定後、車いすを前後左右にゆすり確実に固定されていることを確認してください。確実に固定されていないと、急ブレーキをかけたときや衝突したときに車いすが車室内にとび込み、重大な事故につながるおそれがあり危険です。

⚠ 注意

■車いすを収納・固定するときは

- 車いす固定ベルトにねじれがないこと、鋭利な角部にあたっていないことを確認してください。
車いす固定ベルトを正しくかけないと、車いす固定ベルトが切れるおそれがあります。
- 固定後、車いすを前後左右にゆすり確實に固定されていることを確認してください。
バックドアを閉めるときや走行中に車いすがリヤウインドウガラスなどにあたり、損傷するおそれがあります。
- バックドアはゆっくりと閉めてください。
バックドアをいきおいよく閉めると、車いすがリヤウインドウガラスなどにあたり、損傷するおそれがあります。

■車いすを固定・解除するときは

- 車いすを固定・解除するときは、車いすに手を添えて、車いすが動かないようにしてください。
- 車いすが倒れ、車いすや車両を損傷するおそれがあります。

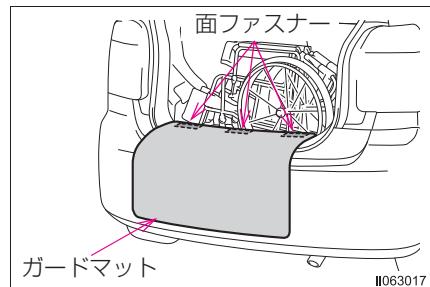
車外への出しかた（A タイプ）

車いすを車外に出すときは次のように行ってください。

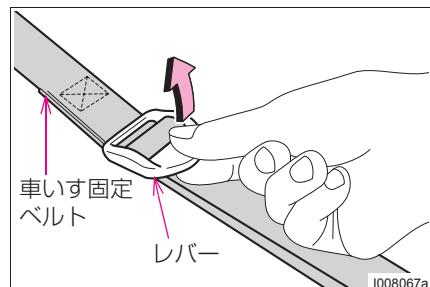
車いすを車外に出すときは

- ① ガードマットの面ファスナーを床面に貼り付ける

車いす収納時、バンパーの傷付きを防止します。



- ② すべての車いす固定ベルトのバックルのレバーを引き上げ、車いす固定ベルトをゆるめる



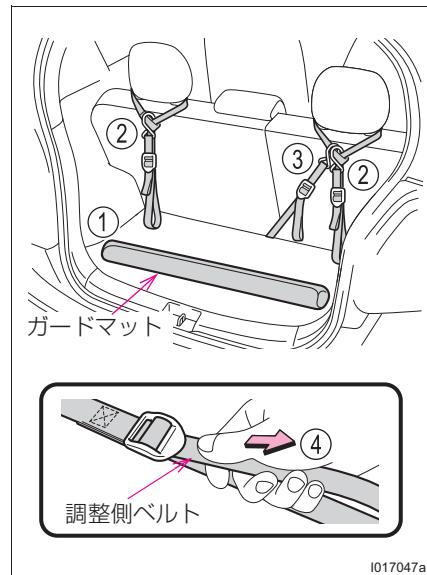
- ③ 車いすを手で支えながら、下側の車いす固定ベルトのフックを上側の固定ベルトから取りはずす

- ④ 車いすを手で支えながら、上側の車いす固定ベルトを取りはずす

- ⑤ 車いすを車外に出す

6 車いす固定ベルトがラゲージルーム外に出ないように固定する

- ① ガードマットをはずしたときは、デッキボードの上に置く
- ② 上側の車いす固定ベルトをそれぞれの取付部へ引っかける
- ③ 下側の車いす固定ベルトを上側の車いす固定ベルト左右いずれかの取付部へ引っかける
- ④ 下側の車いす固定ベルトの調整側ベルトを引っ張り、フックが走行中にはずれないようにする



I017047a

7 バックドアを閉める

□ 知識

■ 車いすを収納・固定しないときは

車いすを収納・固定しないときは、車いす固定ベルトをデッキボードやバックドアに挟まないようにするために、それぞれのフックを引っかけてください。

⚠ 警告

■ 車いすを固定・解除するときは

→ P. 44

⚠ 注意

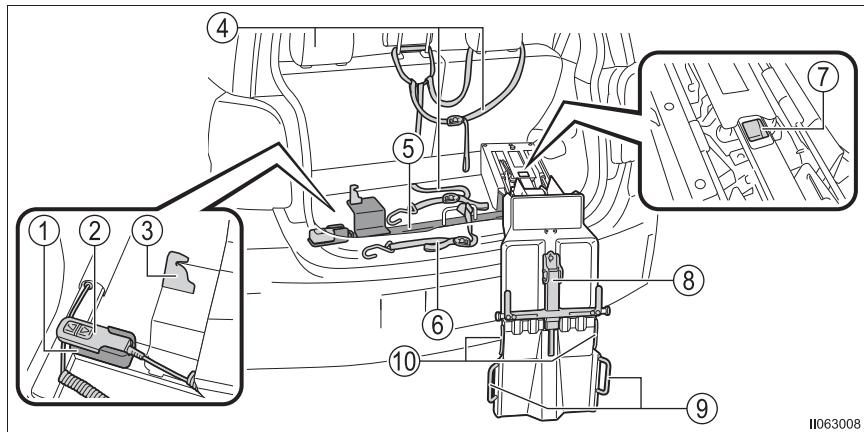
■ 車いすを固定・解除するときは

→ P. 45

車いす収納装置（B タイプ）

車いす収納装置は 35kg までの車いすを搭載することができ、車いすのラゲージルームへの出し入れを補助します。

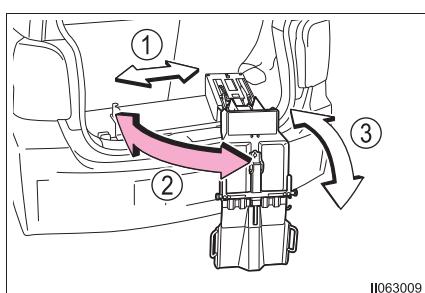
各部の名称



- | | |
|----------------|----------------------|
| ① リモコンホルダー | ⑦ ベルト確認用窓 |
| ② 操作スイッチ | ⑧ キャスター固定ガイドおよびストラップ |
| ③ スッパー | ⑨ 操作ハンドル |
| ④ 車いす固定ベルト | ⑩ ベルトガイド |
| ⑤ ベースフレーム | |
| ⑥ 車いす収納装置固定ベルト | |

作動のしかた

- ① スライド
操作スイッチを使用して作動させます。
- ② 回転
手動で回転させます。
- ③ 上昇・下降
操作スイッチを使用して作動させます。



操作スイッチ（B タイプ）

操作スイッチで車いす収納装置のスライドおよび上昇・下降の操作ができます。

各部の名称

①「上」スイッチ

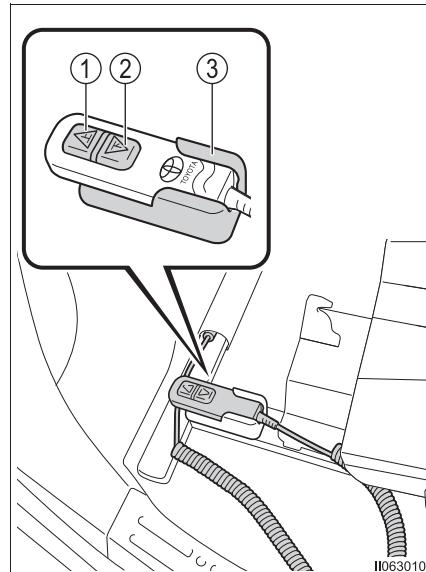
車いす収納装置を右にスライドさせることと、上昇させることができます。

②「下」スイッチ

車いす収納装置を左にスライドさせることと、下降させることができます。

③ リモコンホルダー

操作しないときは、スイッチ面を表向きにして、リモコンホルダーにもどします。



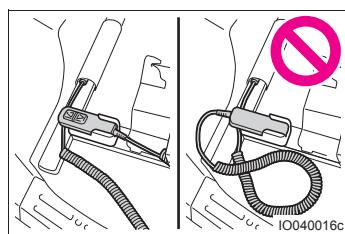
⚠️ 警告

■ 操作スイッチを収納するときは

操作スイッチを使用しないときは、リモコンホルダーに正しい方向で収納してください。

リモコンホルダー以外の場所に収納したり正しい方向で収納しないとスイッチが押され、車いす収納装置が思わぬ動きをして重大な事故につながるおそれがあり危険です。

また、操作スイッチの上に荷物などが置かれていないことも確認してください。



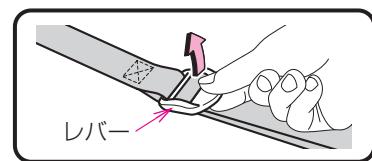
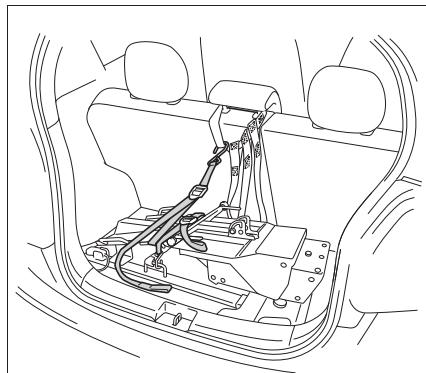
収納のしかた（B タイプ）

車いすを収納するときは次のように行ってください。

収納可能な車いすについては、P. 40 の「収納可能な車いすのサイズ」を参照してください。

車いす収納装置を車外に出すときは

- ① 安全で平坦な場所にエンジンをかけたまま停車し、パーキングブレーキをかけ、シフトレバーを P の位置にする（→ P. 38）
- ② 車両後方に十分なスペースがあることを確認する（→ P. 59）
- ③ 車いす固定ベルトと車いす収納装置固定ベルトをゆるめる
バックルのレバーを引き上げて、十分にのばしてください。

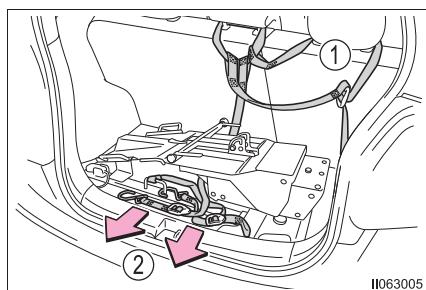


II063004

- ④ 車いす固定ベルトと車いす収納装置固定ベルトをラゲージルームのすみによせる

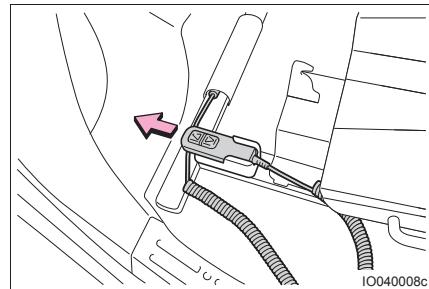
① 上側の車いす固定ベルトを右側のヘッドレストにかけておく

② 下側の車いす固定ベルトと車いす収納装置固定ベルトを手前に引き出す

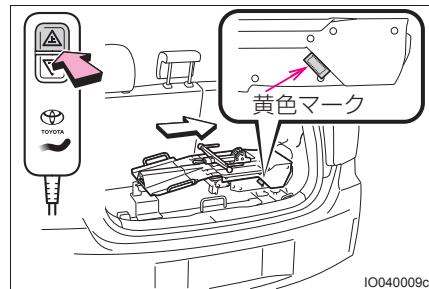


II063005

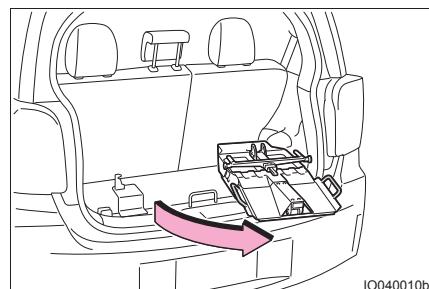
- 5** 車いす収納装置に、車いす固定ベルトと車いす収納装置固定ベルトが引っかかっていないことを確認する
- 6** 操作スイッチをリモコンホルダーから取り出す



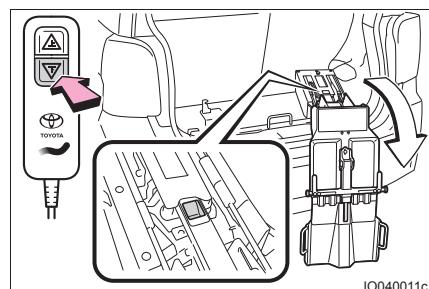
- 7** 操作スイッチの「上」を押し続け、車いす収納装置をいちばん右まで、スライドさせる
 ・停止するまでスイッチを押してください。
 ・黄色マークが見えていることを確認してください。



- 8** 車いす収納装置の操作ハンドルを持ち、車外に向かって回転させる
 ・止まるまで回転させてください。
 ・両手で操作ハンドルを持つ場合は、一度、操作スイッチをリモコンホルダーにもどしてください。



- 9** 操作スイッチの「下」を押し続け、車いす収納装置を車外に出す
 ・車いす収納装置の動きが停止したらスイッチから指を離してください。
 ・ベルト確認用窓から黄色いベルトが見えたら、それ以上スイッチを押さないでください。（→ P. 79）

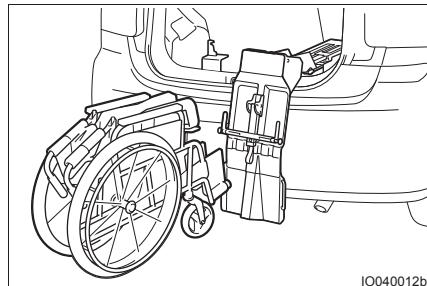


- 10** 操作後、操作スイッチをリモコンホルダーにもどす
 スイッチ面を表向きにして収納してください。

車いすのセットのしかた

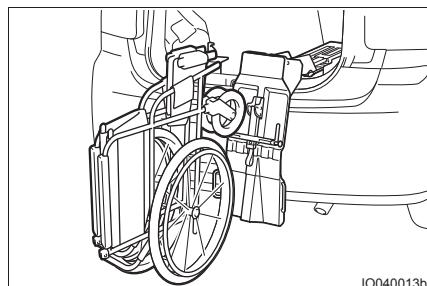
- 1** 車いすのキャスター側を車いす収納装置に向けた状態で折りたたむ

車いすの折りたたみ方については、お使いの車いすの取扱説明書をご覧ください。



- 2** 車いすのブレーキを解除して、垂直になるまで回転させる

車いすの手押しハンドルを折りたたまないで垂直に回転させた場合、車内に入れる前には手押しハンドルをたたんでください。（→ P. 55）

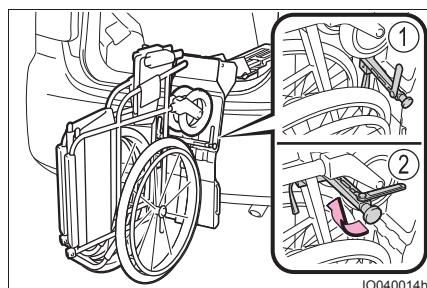


- 3** 車いす収納装置に車いすをセットする

① 車いすのキャスターを車いす収納装置に押しあてる

② キャスター固定ガイドを引き上げる

車いすのキャスターが両輪とも下向きで、確実に固定されていることを確認してください。

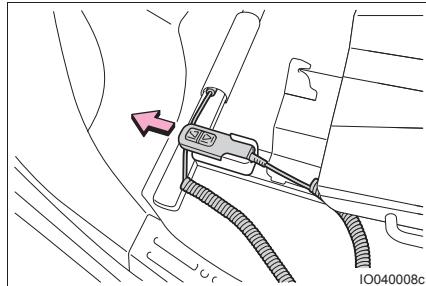


- 4** 車いすの後輪のブレーキを両輪ともかける

車いすのブレーキのかけ方については、お使いの車いすの取扱説明書をご覧ください。

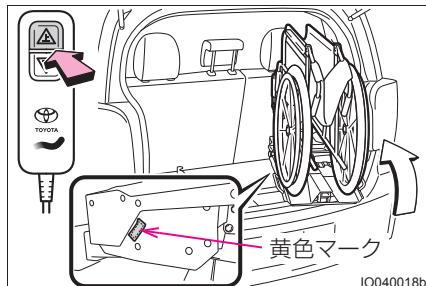
車いすを車内に入れるときは

- 1 操作スイッチをリモコンホルダーから取り出す**



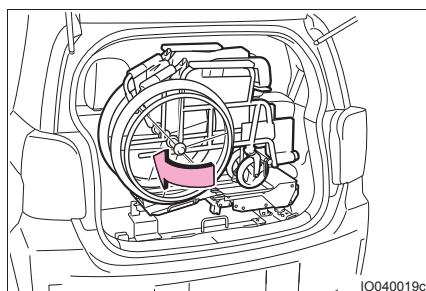
- 2 操作スイッチの「上」を押し続け、車いす収納装置を車内に格納する**

- 停止するまでスイッチを押してください。
- 黄色マークが見えていることを確認してください。



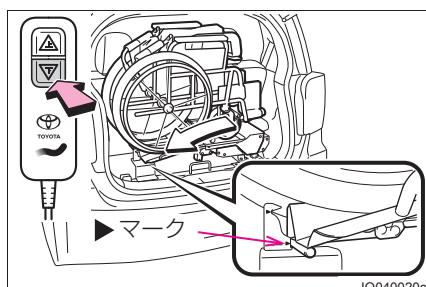
- 3 車いす収納装置の操作ハンドルを持ち、車内に向かって回転させる**

- 止まるまで回転させてください。
- 回転させる前に、車いすの手押しハンドルがたたまれていることを確認してください。



- 4 操作スイッチの「下」を押し続け、車いす収納装置をいちばん左までスライドさせる**

- ストッパーにあたるまでスライドさせたら、スイッチから指を離してください。（→ P. 79）
- 車いすが搭載されているときは、ストッパーアー下側の▶マークの位置に、車いす収納装置がスライドします。



- 5 操作後、操作スイッチをリモコンホルダーにもどす**

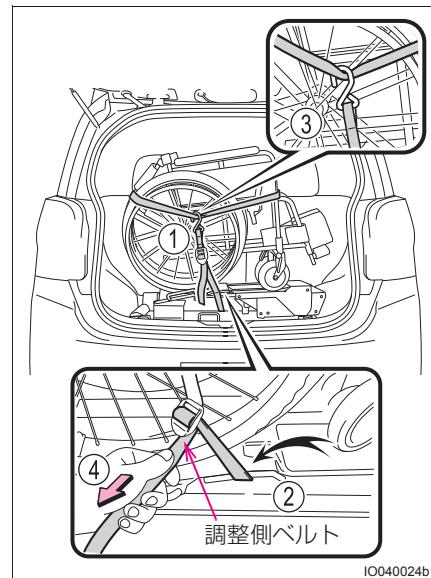
スイッチ面を表向きにして収納してください。

車いすの固定のしかた

車いす固定ベルトを使用して車いすを固定します。

ベルトのフックは次の場所を目安に引っかけてください。

- ① 上側の車いす固定ベルトを車いすに引っかける
調整側ベルトで車いすを固定できる長さにベルトの長さを調整してください。
- ② ベルトガイドに下側の車いす固定ベルトがかかっていることを確認する。
- ③ 下側の車いす固定ベルトを引き出してフックを上側の車いす固定ベルトに引っかける
- ④ 下側の車いす固定ベルトの調整側ベルトを引っ張り、車いすを確実に固定する



IO040024b

固定後、走行する前に

バックドアを閉める

- ・ バックドアを閉めるときは、車いすや車いす収納装置固定ベルトを挟み込まないこと、および車いす収納装置や車いすの手押しハンドルなどがリヤウインドウガラスにあたらないことを確認しながら、ゆっくりと閉めてください。
- ・ ただちに走行しないときはエンジンを停止します。

知識

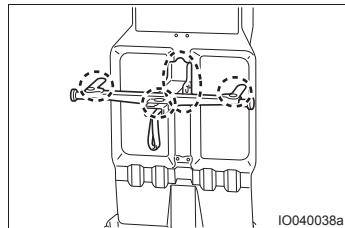
■車いす収納装置の作動について

- 操作スイッチを押しても動かないときは、車いす収納装置が完全に回転していることを確認してください。（→ P. 77）
- 車いす収納装置が、水平の状態から垂直に車外に出るまでのあいだで車内側に回転させてしまった場合は、車内へ格納する方向には作動しますが、車外へは動きません。
- 連続して何度も車いす収納装置の操作を行うと、モーターが過熱して作動しなくなることがあります。この場合は、10分以上待ってから再度操作してください。

■キャスター固定ガイドの調整について

使用する車いすのキャスターに合わせて、キャスター固定ガイドの調整が必要になります。異なる車いすにかえたり、車いすのキャスターを交換したときは再調整をしてください。

調整についてはトヨタ販売店にご相談ください。

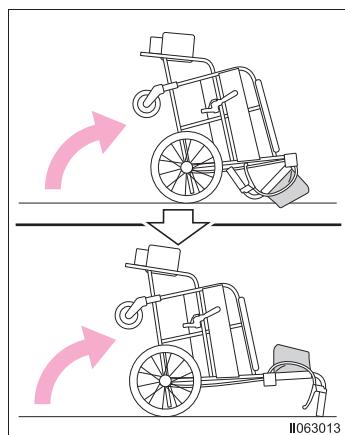


■車いすの出し入れについて

車いすの種類によっては、出し入れの際に車いすの背もたれが地面に触れ、汚れる場合があります。

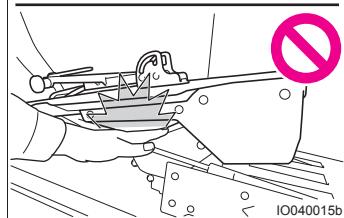
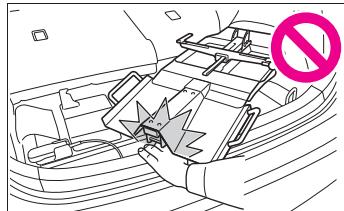
その場合は、手押しハンドルをたたまないで出し入れさせることにより、手押しハンドルは汚れますが背もたれが地面にあたるのを防ぐことができます。

車いすを収納するときは、車内に向かって回転させる前に手押しハンドルをたたんでください。（→ P. 53）



⚠ 警告**■車いす収納装置を操作するときは**

- 可動部付近に手を置かないでください。
操作時に車いす収納装置と車両のあいだに手を挟み、けがをするおそれがあります。

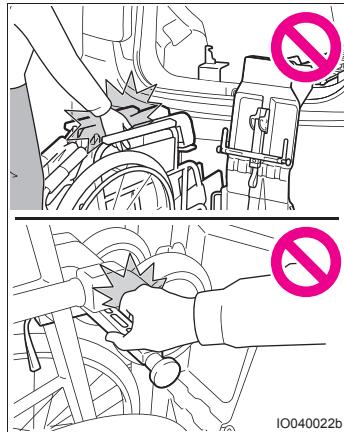


- 車いすを車いす収納装置にセットするときは、使用する車いすのキャスターに合わせて、キャスター固定ガイドの調整をしてください。
調整をしていないと車いすのキャスターの固定がはずれ、車いすが不意に脱落してけがをしたり、車いすが破損したりするおそれがあります。

⚠️ 警告

■車いすを収納するときは

- 手などを挟んだり、車いすや車両に体があたらないように注意してください。
- 車いす収納装置に車いすをセットするとき、車いすのアームレスト部やキャスター固定ガイドで指を挟まないように注意してください。



- 車いす収納装置で車いすを収納したあとは、必ず車いす固定ベルトと車いす収納装置固定ベルトで確実に固定してください。

急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに車いすが車室内にとび込んだり、車いすが動いて車両や車いすが損傷するなど、重大な事故につながるおそれがあり危険です。（→ P. 14）

■車いすを固定したときは

固定後、車いすを前後左右にゆすり確実に固定されていることを確認してください。確実に固定されていないと、急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに車いすが車室内にとび込み、重大な事故につながるおそれがあり危険です。

■車いすを固定・解除するときは

車いすに手を添えて、車いすが動かないようにしてください。

車いすが倒れて体にあたるなど、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

⚠ 注意

■車いすを収納するまえに

- 車いす収納装置には車いす以外のものをのせたり、荷物などを置かないでください。
操作時にのせたものが落下して車両を損傷したり、故障したりするおそれがあります。
- 車いすを収納する際、P. 40 の「収納可能な車いすのサイズ」の条件を満たしていることを確認してください。
車いす収納装置の故障および車いすの収納・固定が困難になり、車両を傷付けるおそれがあります。
- 車いすを収納する前に、必ずバックドアが全開になっていることを確認してください。
全開になっていないと、車いす収納時、バックドアと車いすが干渉し、損傷するおそれがあります。

■車いすを収納・固定するときは

- 車いす固定ベルトと車いす収納装置固定ベルトにねじれがないこと、および鋭利な角部にあたっていないことを確認してください。
正しくかけないとベルトが切れるおそれがあります。
- 固定後、車いすを前後左右にゆすり確實に固定されていることを確認してください。
バックドアを閉めるときや走行中に車いすがリヤウインドウガラスなどにあたり、損傷するおそれがあります。
- バックドアはゆっくりと閉めてください。
バックドアをいきおいよく閉めると、車いすや車いす収納装置がリヤウインドウガラスなどにあたり、損傷するおそれがあります。

■車いすを固定・解除するときは

- 車いすを固定・解除するときは、車いすに手を添えて、車いすが動かないようにしてください。
- 車いすが倒れ、車いすや車両を損傷するおそれがあります。

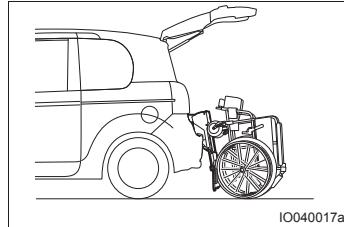
⚠ 注意

■車いすを出し入れするときは

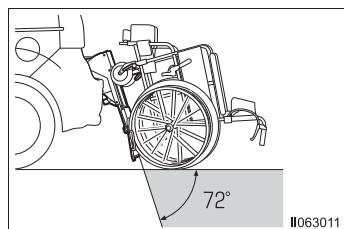
- 障害物や段差がない場所で行ってください。

車いす収納装置を出した先に障害物や段差がある場合、車いす収納装置や車いすを損傷したり、車いすがはずれて落下したりするおそれがあります。

- 車いす収納装置を車外へ出したり収納したりするときは、車両後方と地面とのあいだに十分なスペースがあることと、平坦な場所であることを確認してください。



- 図の角度の中に車いすが入っている場合、車いすをセットするときに地面にあたるおそれがあります。（→ P. 40）

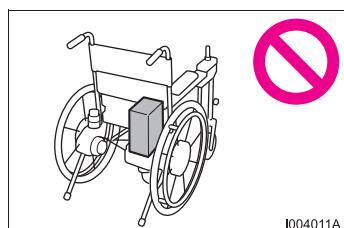


- 後輪が小さい車いすなどは、車いす収納装置にセットするときや車外に出すときに、背もたれが地面にあたり、汚れたり傷ついたりするおそれがあります。（→ P. 55）

■電動車いすをご使用の方へ

- 車いす収納装置に電動車いすを収納する場合は、必ず電動車いすのバッテリーを取りはずしてください。

バッテリーがはずれて落下したり、不意に車いすが動き出し車いす収納装置や車いすを破損させるおそれがあります。



- 電動車いすのバッテリーは高温にならない場所に保管してください。

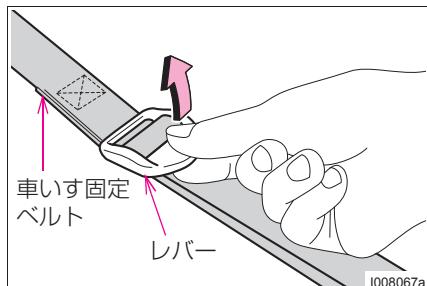
バッテリーの劣化が促進されます。（詳しくは電動車いすの取扱説明書を参照してください）

車外への出しかた（B タイプ）

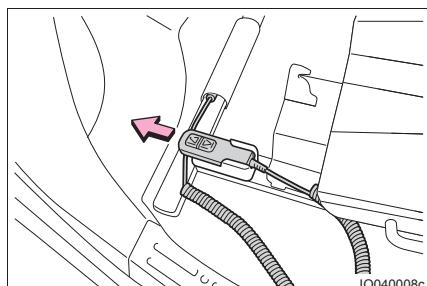
車いすを車外に出すときは次のように行ってください。

車いすを車外に出すときは

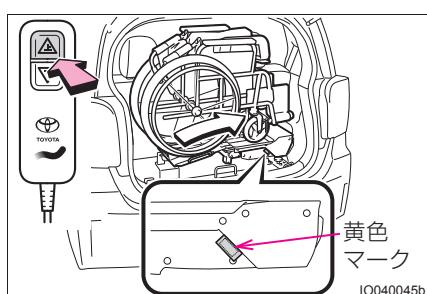
- 1 安全で平坦な場所にエンジンをかけたまま停車し、パーキングブレーキをかけ、シフトレバーを P の位置にする（→ P. 38）
- 2 車両後方に十分なスペースがあることを確認する（→ P. 59）
- 3 下側の車いす固定ベルトのバックリュのレバーを引き上げ、車いす固定ベルトをゆるめる



- 4 車いすを手で支えながら、下側の車いす固定ベルトのフックを上側の固定ベルトから取りはずす
- 5 車いすを手で支えながら、上側の車いす固定ベルトを取りはずす
- 6 操作スイッチをリモコンホルダーから取り出す

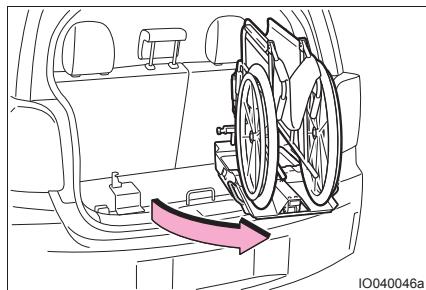


- 7 操作スイッチの「上」を押し続け、車いす収納装置をいちばん右まで、スライドさせる
 - ・停止するまでスイッチを押してください。
 - ・黄色マークが見えていることを確認してください。



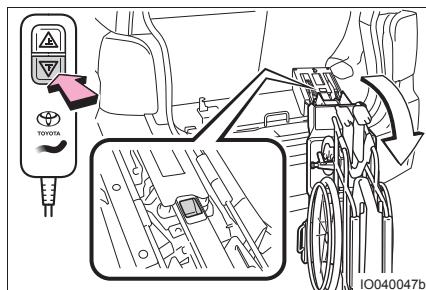
8 車いす収納装置の操作ハンドルを持ち、車外に向かって回転させる

- 止まるまで回転させてください。
- 両手で操作ハンドルを持つ場合は、一度、操作スイッチをリモコンホルダーにもどしてください。



9 操作スイッチの「下」を押し続け、車いす収納装置を車外に出す

- 車いすの後輪が地面についたら、スイッチから指を離してください。
- ベルト確認用窓から黄色いベルトが見えたら、それ以上スイッチを押さないでください。（→ P. 79）
- 車いすを安定した状態で出したいときや、背もたれが地面にあたるのを防止したいときは手押しハンドルを開いた状態にしてください。（→ P. 55）



10 操作後、操作スイッチをリモコンホルダーにもどす

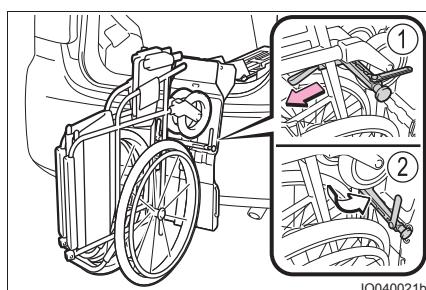
スイッチ面を表向きにして収納してください。

11 車いすを支えながら、車いすと車いす収納装置を解除する

- ① キャスター固定ガイドのストラップを引く

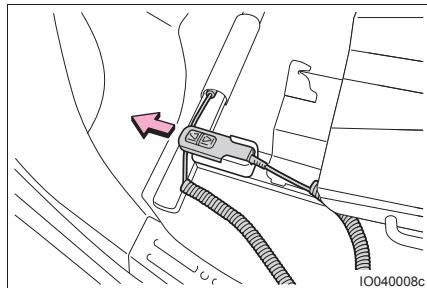
折りたたまれた状態の車いすのあいだから手を入れてください。

- ② キャスター固定ガイドを下げる

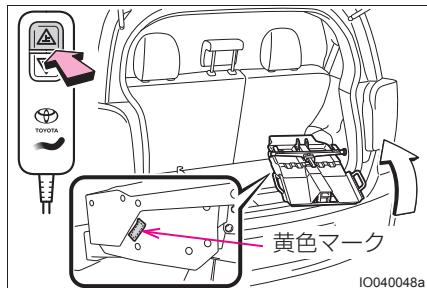


車いす収納装置を車内にもどすときは

- ① 操作スイッチをリモコンホルダーから取り出す



- ② 操作スイッチの「上」を押し続け、車いす収納装置を車内に格納する
・ 停止するまでスイッチを押してください。
・ 黄色マークが見えていることを確認してください。

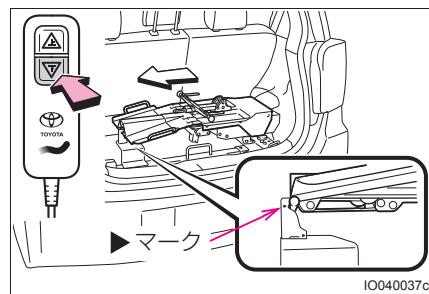


- ③ 車いす収納装置の操作ハンドルを持ち、車内に向かって回転させる
止まるまで回転させてください。



4 操作スイッチの「下」を押し続け、車いす収納装置をいちばん左までスライドさせる

- ・ストッパーにあたるまで車いす収納装置をスライドさせたら、スイッチから指を離してください。（→ P. 79）
- ・車いすが搭載されていないときは、ストッパー上側の▶マークの位置に、車いす収納装置がスライドします。



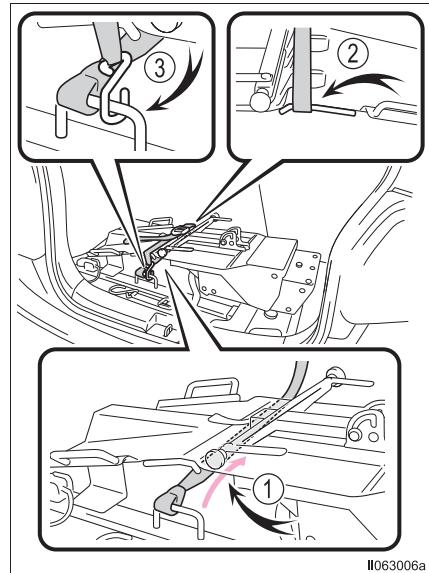
IO040037c

5 操作後、操作スイッチをリモコンホルダーにもどす

スイッチ面を表向きにして収納してください。

6 車いす収納装置固定ベルトのフックを引っかける

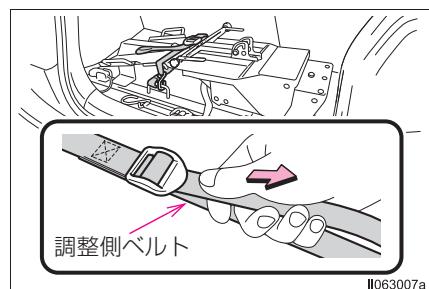
- ① 車いす収納装置の下側から、車いす収納装置固定ベルトを入れて上側に引き出す
- ② 奥側のベルトガイドに、車いす収納装置固定ベルトがかかっていることを確認する
- ③ 車いす収納装置固定ベルトを手前に引き出して、ベースフレームのフックに引っかける



II063006a

7 車いす収納装置固定ベルトの調整側ベルトを引っ張り、車いす収納装置を固定する

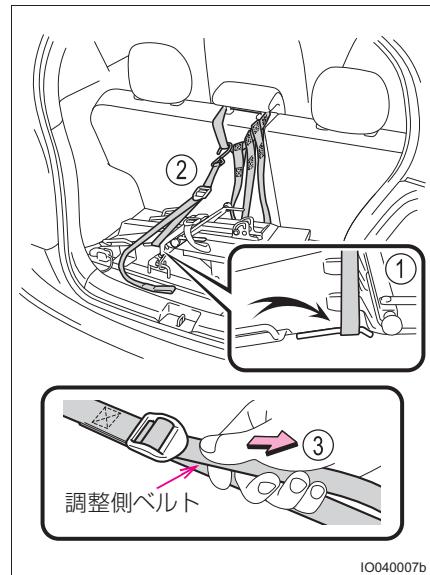
固定後の調整側ベルトは、デッキボードの上に置いてください。



II063007a

8 下側の車いす固定ベルトを上側の車いす固定ベルトに引っかける

- ① 手前側のベルトガイドに下側の車いす固定ベルトがかかっていることを確認する
- ② 下側の車いす固定ベルトを上側の車いす固定ベルトに引っかける
- ③ 下側の車いす固定ベルトの調整側ベルトを引っ張り、フックが走行中にはずれないようにする



IO040007b

9 バックドアを閉める

ただちに走行しないときはエンジンを停止してください。

□ 知識

■ 車いすの出し入れについて

→ P. 55

■ 車いすを収納・固定しないときは

- 車いす固定ベルトおよび車いす収納装置固定ベルトをラゲージルーム内中央や車いす収納装置の上に放置しないでください。
車いす収納時に車いすの下敷きになつたり、車いす収納装置操作時に引っかかつたりして操作が困難になります。
- 車いす固定ベルトおよび車いす収納装置固定ベルトをデッキボードやバックドアに挟まないようにするために、それぞれのフックを引っかけてください。

■ 車いす収納装置固定ベルトについて

- 車いすを収納・固定しないときは、車いす収納装置を車内にもどして車いす収納装置固定ベルトで固定してください。
固定することにより、走行中の車いす収納装置の音や振動を防止することができます。
- 車いす収納装置固定ベルトをバックドアに挟んだりしないようにするために、デッキボードの上に置いてください。

⚠️ 警告

■ 車いす収納装置を操作するときは

→ P. 56

■ 車いすを固定・解除するときは

→ P. 57

⚠️ 注意

■ 故障・損傷を防ぐために

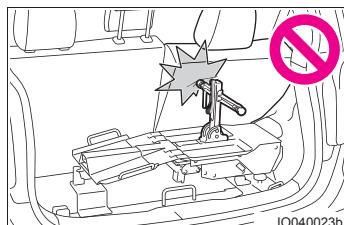
- 車いす収納装置を手動で格納しないでください。

手動で格納すると、故障の原因になるおそれがあります。



- 車いすを収納していないときはキャスター固定ガイドを倒してください。

キャスター固定ガイドを立たせている状態だと、リヤシートとあたり破損するおそれがあります。



■ 車いすを出し入れするときは

→ P. 59

■ 車いすを固定・解除するときは

→ P. 58

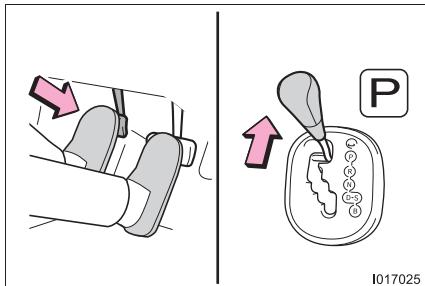
デッキボードを開閉するときは（A タイプ）

デッキアンダートレイを使用するときやパンクしたときなど、デッキボードを開閉するときは、次のように行ってください。

B タイプにお乗りの方は「車いす収納装置の跳ね上げ（B タイプ）」を参照してください。（→ P. 67）

デッキボードを取りはずす前に

- 1 安全で平坦な場所に停車し、パークリングブレーキをかけ、シフトレバーを P の位置にしてから、エンジンを停止してください。



I017025

- 2 バックドアを全開にする
- 3 車いすがラゲージルーム内に収納・固定されているときは、車いすの固定を解除し、車いすをラゲージルーム外に出す（→ P. 46）
- 4 車いす固定ベルトのそれぞれのフックを引っかける（→ P. 47）

デッキボードを取りはずすときは

車いす固定ベルトに注意しながらデッキボードを取りはずします。デッキボードの取り扱いについては、標準車取扱書の『ラゲージルーム内装備』をあわせて参照してください。

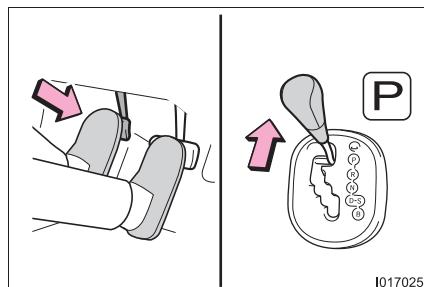
車いす収納装置の跳ね上げ (B タイプ)

パンクしたときなど、車いす収納装置を跳ね上げるときは、次のように行ってください。

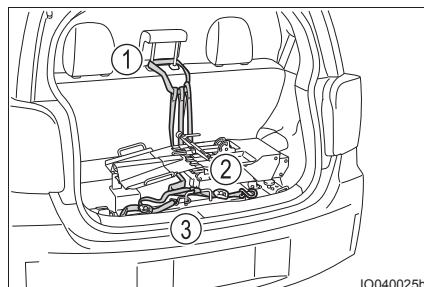
車いす収納装置の跳ね上げについては、パンクしたときなどの緊急時のみにとどめてください。

車いす収納装置を跳ね上げる前に

- 1 安全で平坦な場所に停車し、パークリングブレーキをかけ、シフトレバーを P の位置にしてから、エンジンを停止してください。

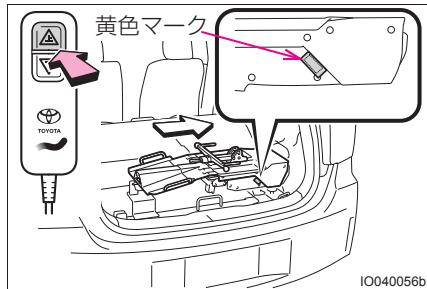


- 2 バックドアを全開にする
- 3 車いすがラゲージルーム内に収納・固定されているときは、車いすの固定を解除し、車いすをラゲージルーム外に出す (→ P. 60)
- 4 車いす収納装置が固定されている場合、車いす収納装置固定ベルトをはずす (→ P. 50)
- 5 車いす固定ベルトと車いす収納装置固定ベルトを次の状態にする
 - ① 上側の車いす固定ベルトが左右のヘッドレストに引っかかっていないことを確認する
 - ② 下側の車いす固定ベルトを手前に引き出す
 - ③ 車いす収納装置固定ベルトを手前に引き出し、ベースフレームのフックに引っかける



車いす収納装置を跳ね上げるときは

- 1** リヤシートを前に倒す
(→標準車取扱書の『リヤシート』)
- 2** 操作スイッチの「上」を押し続け、車いす収納装置をいちばん右まで、スライドさせる
 - ・停止するまでスイッチを押してください。
 - ・黄色マークが見えていることを確認してください。



- 3** ロックハンドルを取りはずす

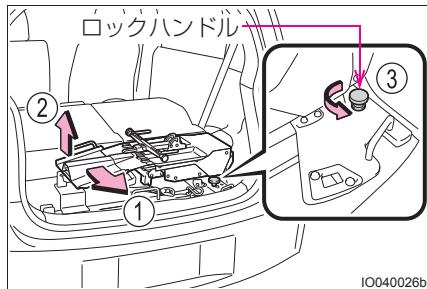
① ロックハンドルが取りはずしやすい位置まで、車いす収納装置を回転させる

② 車いす収納装置の先を持ち上げる

少し持ち上げることにより、ロックハンドルが回しやすくなります。

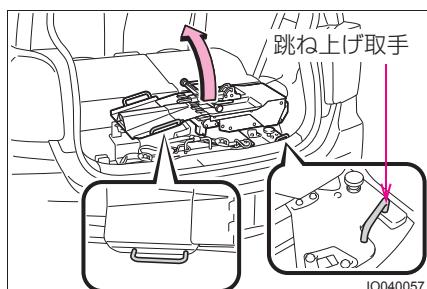
③ ロックハンドルを左にまわす

ロックハンドルを取りはずしたら、車いす収納装置を車内側に回転させてください。



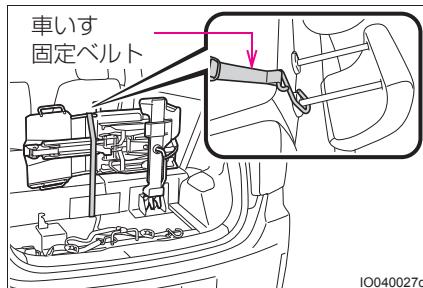
- 4** 車いす収納装置を操作ハンドルと跳ね上げ取手を持って、跳ね上げる

右手で跳ね上げ取手を持ち、左手で手前側の操作ハンドルを持ってください。



- 5** 下側の車いす固定ベルトのフックを中心のヘッドレストのステーにかける

装置が落ちてくるのを防止します。フックをステーにかけたら調整側ベルトを引っ張り、長さを調整してください。



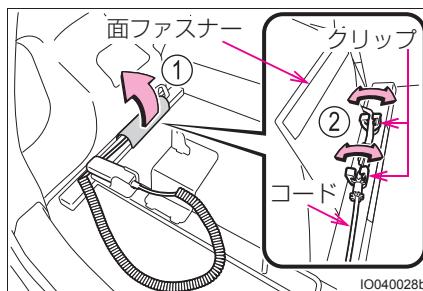
- 6** 車いす収納装置のベースフレームから操作スイッチのコードを取りはずす

- ① ベースフレーム左側のカバーをはがす

面ファスナーで固定されています。

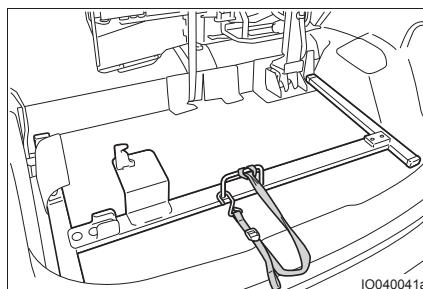
- ② クリップを広げながらコードを取りはずす

はずしたコードと操作スイッチは、前に倒したリヤシートの上によけておいてください。



- 7** 車いす収納装置のベースフレームを車外に出す

車いす収納装置固定ベルトはベースフレームに引っかけたまま、車外に出してください。



デッキボードを取りはずすときは

車いす固定ベルトと車いす収納装置に注意しながらデッキボードを取りはずします。

デッキボードの取り扱いについては、標準車取扱書の『ラゲージルーム内装備』をあわせて参照してください。

車いす収納装置を跳ね上げた状態からもどすときは

1 車いす収納装置のベースフレームを車内にもどす

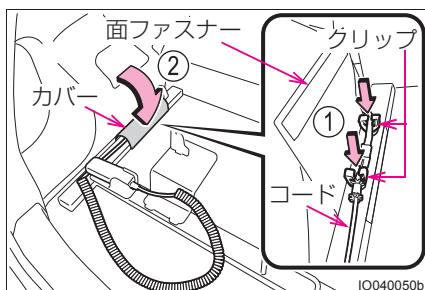
- ・ベースフレームを車内に入れるときは、操作スイッチのコードと車いす収納装置固定ベルトを挟み込まないように注意してください。
- ・ベースフレームにロックハンドルを紛失防止のために仮固定している場合は、車いす収納装置を跳ね上げた状態からもどす前にはずしてください。

2 車いす収納装置のベースフレームに操作スイッチのコードを取り付ける

① クリップにコードを取り付ける

クリップにコードを押し込むようにして取り付けます。

② ベースフレーム左側のカバーを取り付ける

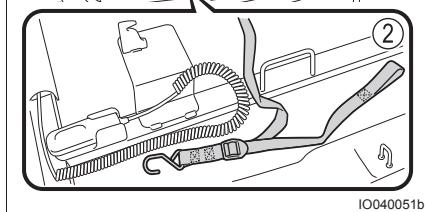
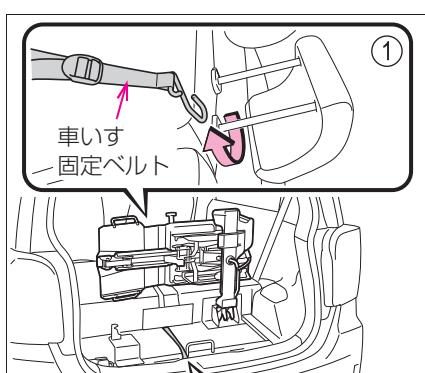


3 下側の車いす固定ベルトを中心のヘッドレストからはずす

① ステーからフックをはずす

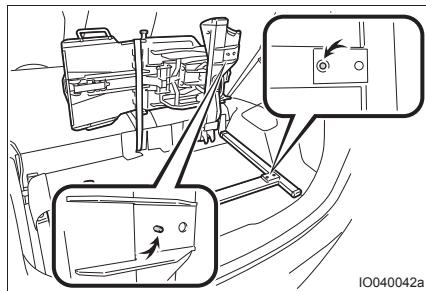
② 車いす固定ベルトをベースフレームより手前に置く

下側の車いす固定ベルトは、手前に引き出した状態にしてください



4 車いす収納装置を跳ね上げた状態からもどす

右手で跳ね上げ取手を持ち、左手で左上側の操作ハンドルを持って、車いす収納装置側のピンがベースフレーム側の穴に合うようにもどしてください。
うまく合わない場合、ベースフレームの置いている位置を微調整してください。



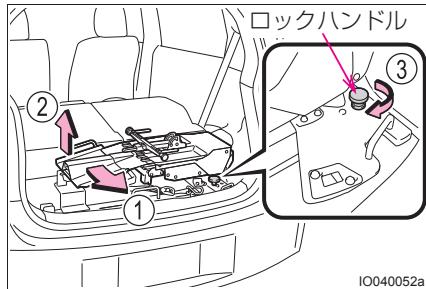
IO040042a

5 ロックハンドルを取り付ける

① ロックハンドルが取り付けやすい位置まで、車いす収納装置を回転させる

② 車いす収納装置の先を持ち上げる

少し持ち上げることにより、ロックハンドルが締め込みやすくなります。



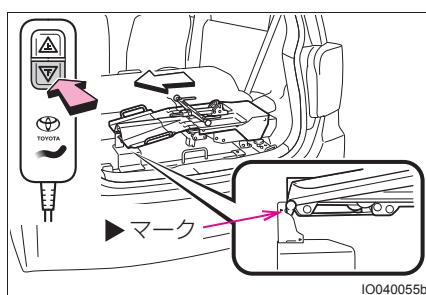
IO040052a

③ ロックハンドルを右にまわす

- ・ロックハンドルが完全に締め込まれていることを確認してください。
- ・ロックハンドルを取り付けたら、車いす収納装置を車内側に回転させてください。

6 操作スイッチの「下」を押し続け、車いす収納装置をいちばん左までスライドさせる

- ・ストッパーにあたるまで車いす収納装置をスライドさせたら、スイッチから指を離してください。
- ・ストッパー上側の▶マークに、車いす収納装置がスライドします。



IO040055b

7 リヤシートをもとにもどす (→標準車取扱書の『リヤシート』)

□ 知識

■紛失を防ぐために

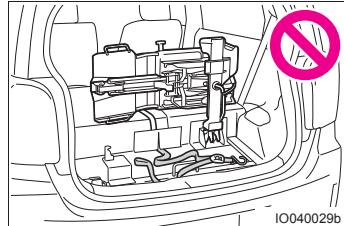
車いす収納装置を跳ね上げたときに取りはずしたロックハンドルは、ベースフレームに仮固定で取り付けるなどして、紛失しないようにしてください。

⚠ 警告

■車いす収納装置を跳ね上げたときは

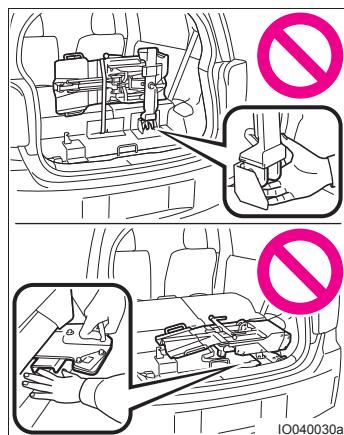
車いす収納装置の跳ね上げについて、次のことをお守りください。
お守りいただかないと、車いす収納装置が突然落ちたりなどして、思わぬ事故や車両などの損傷につながるおそれがあり危険です。

- 車いす収納装置を跳ね上げたあとは、必ず車いす固定ベルトで固定してください。
- 車いす固定ベルトで固定していても、車いす収納装置を跳ね上げた状態で走行しないでください。



■車いす収納装置を跳ね上げた状態からもどすときは

リンク部やアームロック部に手や指を挟まないように注意してください



⚠ 注意

■故障・損傷を防ぐために

車いす収納装置を跳ね上げるときは、次のことをお守りください。
リヤシートとあたった場合、破損の原因になります。

- キャスター固定ガイドを倒してください。
- リヤシートとシートクッションのあいだに物がはさまっていないか確認し、リヤシートの背もたれを完全に前に倒してください。

万一の場合には

4

4-1. 故障かな？と お考えになる前に

ヒューズの交換（B タイプ）	74
助手席回転チルトシートが 動かないときは	76
車いす収納装置が 動かないときは (B タイプ)	77

4-2. 緊急時の対処法

助手席回転チルトシートが 車外に出た状態で 動かないときは	81
車いす収納装置が車外に 出た状態で動かないときは (B タイプ)	85

ヒューズの交換 (B タイプ)

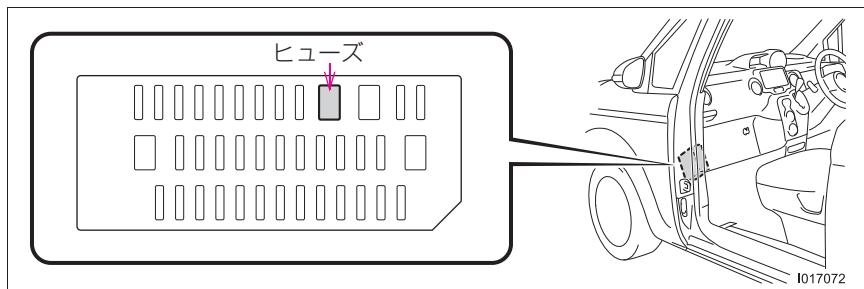
車いす収納装置の操作スイッチを押しても、車いす収納装置が動かないときは、ヒューズ切れが考えられます。

ヒューズが切れたときは、必ず規定容量のヒューズと交換してください。

ヒューズ位置

■ 助手席側ヒューズボックス

助手席側ヒューズの点検・交換方法については、標準車取扱書の『ヒューズの点検・交換』をお読みください。



ヒューズ名称	アンペア数	使用装置
LIFT UP	30A	車いす収納装置

 知識

■ ヒューズを交換したあとは

次の場合はトヨタ販売店で点検を受けてください。

- 交換しても再びヒューズが切れるとき
- 交換しても車いす用収納装置が動かないとき

 警告

■ 車の故障や火災を防ぐために

次のことをお守りください。

お守りいただかないと車の故障や火災、けがをするおそれがあります。

- 規定容量以外のヒューズまたはヒューズ以外のものを使用しない
- 必ずトヨタ純正ヒューズか同等品を使用する
- ヒューズやヒューズボックスを改造しない

助手席回転チルトシートが動かないときは

次の処置をしてください。

回転スライドレバー・チルトボタンの確認

- 助手席回転チルトシートの回転スライドレバーおよびチルトボタン操作時、引っかかりなどがなく正常に操作できることを確認してください。
- 複数のレバー・ボタンを同時に操作していないことを確認してください。 (→ P. 25)

助手席回転チルトシートの確認

- 助手席回転チルトシートが回転しないときは、次のことを確認してください。
 - ・車外に出すとき: シートがいちばん前まで移動している (→ P. 26)
 - ・車内にもどすとき: シートのチルトをもどし終わっている (→ P. 31)
- 助手席回転チルトシートが下にチルトしないときは、シートが車外に回転完了していることを確認してください。 (→ P. 28)
- 助手席回転チルトシートが前後スライドしないときは、シートが車内に完全に回転していることを確認してください。 (→ P. 33)

回転スライドレバー・チルトボタンおよび助手席回転チルトシートの確認をしても動かない場合

すみやかに点検を受けてください。

修理が完了するまで、絶対に助手席回転チルトシートを使用しないでください。

■ 車内に入った状態で動かない場合

そのままトヨタ販売店で点検を受けてください。

■ 車外に出た状態で動かない場合

トヨタ販売店または専門業者に、P. 81 以降の操作をご依頼ください。

車いす収納装置が動かないときは (B タイプ)

次の処置をしてください。

作動条件の確認

■ 車いす収納装置の回転について

次の状態を確認してください。

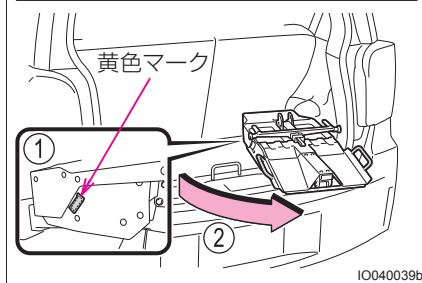
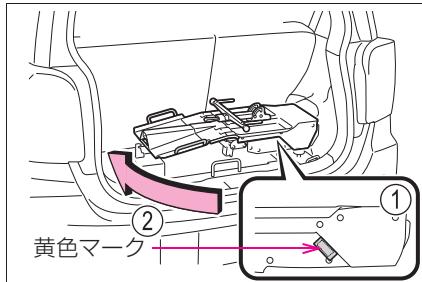
① 黄色マークが見えていること

車外に向かって回転させるとき：いちばん右まで、スライドさせる

車内に向かって回転させるとき：停止するまで、車内に格納する

② 完全に回転していること

完全に回転させないと作動しません。

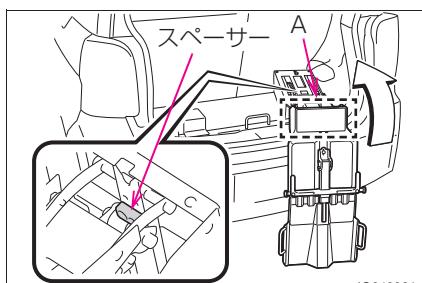


■ スペーサーの位置について

右図の「A」部裏側のスペーサーが見えていることを確認してください。

スペーサーが見えないと、車内に格納することができません。

(→ P. 78)

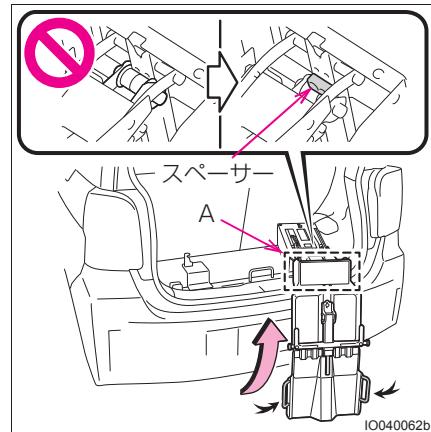


スペーサーが正しい位置にないときは

「A」部裏側のスペーサーが見えていない場合は、次の手順で正しい位置にもどしてください。

車いす収納装置を水平に持ち上げて、スペーサーを見る位置まで移動させる。

- ・ P. 85 の「車いす収納装置の手動での格納のしかた」の②の方法で、持ち上げてください。
- ・ 水平に持ち上がらない場合は、操作スイッチの「下」を少し押してから、再度、持ち上げてください。



ヒューズの点検・交換

作動条件を確認後、スイッチを押しても車いす収納装置が動かないときは、ヒューズを点検・交換してください。 (→ P. 74)

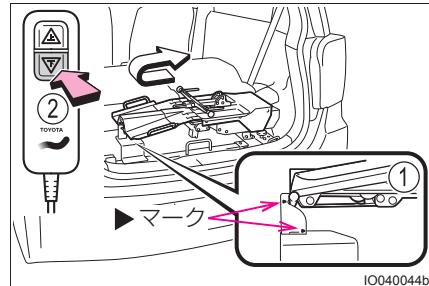
車いす収納装置の作動が逆になったときは

次のどちらかの操作をすると、すべての作動が操作スイッチと反対になります。

■ 車内にもどしているとき（スライド作動時）

- ① ストップバーの▶マークの位置に車いす収納装置があたっている
- ② さらに操作スイッチの「下」を押し続ける

車いす収納装置が右にスライドし始めたら作動が逆転しています。



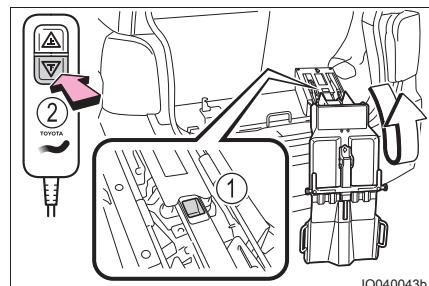
■ 車外に出しているとき（上昇・下降作動時）

- ① ベルト確認用窓から黄色いベルトが見えてくる

黄色いベルトは車いす収納装置の振出し端であることを示します。

- ② 黄色いベルトが出てきたあとも、さらに操作スイッチの「下」を押し続ける

車いす収納装置が格納し始めたら作動が逆転しています。



車いす収納装置の正常な作動へのもどし方

もう一度、「車内にもどしているとき」か「車外に出しているとき」のどちらかの状態で操作スイッチを押し続け、作動を逆転させてください。次の状態になると正常な状態になります。

作動状況	操作スイッチ	
	「下」を押す	「上」を押す
車内にもどしているとき (スライド作動時)	左にスライドする	右にスライドする
車外に出しているとき (上昇・下降作動時)	車いす収納装置が車外に出る	車いす収納装置が車内にもどる

操作スイッチを押しても動かない場合

- 車いす収納装置の作動が逆転しかけている場合、最大約1分間、操作スイッチを押し続けないと作動しません。
- 操作スイッチを押し続けているときに、ベルト確認用窓の中のベルトが動いていない場合は、ただちに操作を中止して、トヨタ販売店にご相談ください。

操作している途中で停止する場合

車いす収納装置を操作している途中で停止したり、何かに引っかかるような動きをする場合、内部の部品に問題があるおそれがあります。トヨタ販売店で点検を受けてください。

作動条件の確認およびヒューズの点検・交換をしても動かない場合

トヨタ販売店で点検を受けてください。

知識

■ バッテリーの取り扱いについて

車いす収納装置の操作中にバッテリーを取りはずさないでください。

車いす収納装置が作動しなくなります。

助手席回転チルトシートが車外に出た状態で動かないときは

万一、助手席回転チルトシートのチルトがもどせなくなったときや回転スライドレバーが引けなくなってしまったときは、スライドドアを閉めることができません。

その場合は、トヨタ販売店または専門業者に、P. 82「助手席回転チルトシートのチルトがもどせなくなったとき」または、P. 83「助手席回転チルトシートのチルトはもどせるが回転スライドレバーが引けなくなったとき」の操作をご依頼ください。

使用工具について

助手席回転チルトシートを手動で車内にもどすときは、車載のホイールナットレンチを使用します。

ホイールナットレンチの搭載位置については、標準車取扱書の『パンクしたときは』を併せて参照してください。



TTT51AE001A

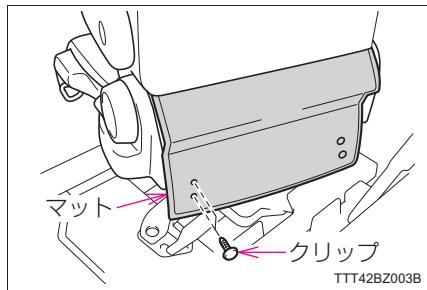
助手席回転チルトシートを車内にもどす前に

操作前に、次の状態を確認してください。

- 助手席回転チルトシートに座っている乗員がいる場合は、乗員を安全な場所に移動させる
- スライドドアが全開になっていること
- リヤシートに乗員がいないこと
- グローブボックスのフタが閉まっていること
- 助手席カップホルダーが格納されていること
- サンバイザーが格納されていること
- 買い物フックに荷物がかかっていないこと
- 助手席回転チルトシートの下および周辺に荷物などが置かれていないこと

助手席回転チルトシートのチルトがもどせなくなったとき

- 1 助手席回転チルトシート左後部のクリップ 2 本を取りはずし、マットをめくる



- 2 助手席回転チルトシートを支えながら、ホイールナットレンチでピンを押し、チルト用ロックを解除する。

助手席回転チルトシートのチルトがもどり始めたら、ホイールナットレンチを引き抜きます。



助手席回転チルトシートのチルトはもどせるが回転スライドレバーが引けなくなったとき

操作前に助手席回転チルトシートのチルトをもどし終わっていることを確認してください。

確実にチルトをもどし終わっていないと、回転操作ができません。

- 1** 助手席回転チルトシート左後部のクリップ2本を取りはずし、マットをめくる(→P. 82)

- 2** ホイールナットレンチで助手席回転チルトシートの回転用ロックを押しながら、シートを中間ロック位置まで回転させる

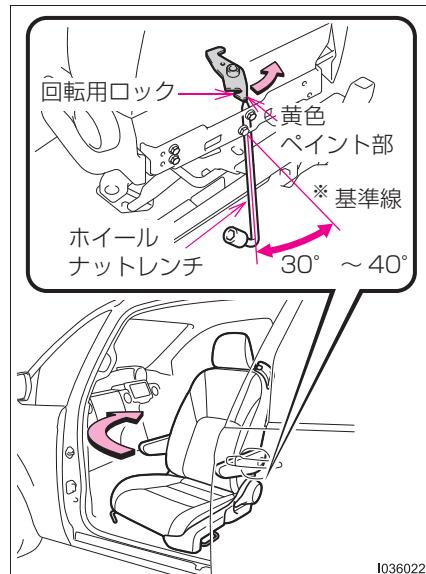
- ① 助手席回転チルトシート下部とスライドパネルのすき間から、右側のボルトを目印に、基準線※に対して約30°～40°方向にホイールナットレンチを挿し込む

※ 基準線：助手席回転チルトシートに対して垂直方向の線

- ② 回転用ロックを反時計まわりの方向に押しながら、助手席回転チルトシートを回転させる

- ・回転が始まったら、ホイールナットレンチを引き抜きます。
- ・回転用ロックの先端部は黄色にペイントされています。

- 3** **2**の方法で再度ホイールナットレンチで回転用ロックを解除しながら、助手席回転チルトシートをさらに車内に回転させる



I036022

□ 知識

■ 回転用ロックについて

ホイールナットレンチで回転用ロックを反時計まわりの方向に押しながら、助手席回転チルトシートを回転させてください。シートの回転が始まる前にホイールナットレンチを引き抜くと、シートを回転させることができません。

■ 紛失を防ぐために

取り外した部品は袋に入れるなどして、紛失しないようにしてください。

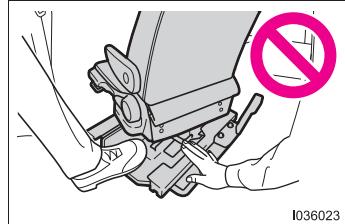
⚠ 警告

■修理が完了するまでは

助手席回転チルトシートに座らないでください。

■助手席回転チルトシートを手動で格納するときは

- 助手席回転チルトシート格納スペースに手や足を入れないでください。シート可動部などで手や足などを挟み、けがをするおそれがあります。



- 工具を使用したあとは、所定の場所に確実に保管してください。

車室内などに放置すると、急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに、工具が飛んできて乗員にあたるなど、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

⚠ 注意

■破損・損傷を防ぐために

- 助手席回転チルトシートを車内にもどすときは、次のことをお守りください。お守りいただかないとシートやものが破損・損傷するおそれがあります。

- ・グローブボックスのフタを閉める
- ・助手席カップホルダーを格納する
- ・買い物フックに荷物がかかった状態で操作しない
- ・シートの下および周辺に荷物などが置かれた状態で操作しない

- ホイールナットレンチを使用して助手席回転チルトシートのチルトをもどすときは、シートを支えながらロックを解除し、シートのチルトがもどり始めたらすみやかにホイールナットレンチを引き抜いてください。

シートにホイールナットレンチが挟まれ、損傷するおそれがあります。

車いす収納装置が車外に出た状態で動かないときは（B タイプ）

万一、車いす収納装置を車外に出している状態でもどせなくなったり、バックドアを閉めることができません。

ヒューズを点検・交換（→ P. 74）しても動かない場合は、この項目に記載されている要領で車内に格納して、トヨタ販売店で点検を受けてください。

用意するもの

車いす収納装置を手動で格納するときは、車内を傷などから保護するために布などを用意ください。

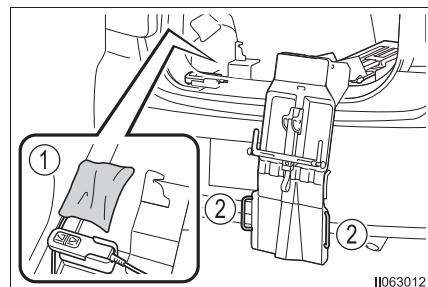
車いす収納装置を車内にもどす前に

操作前に、次の状態を確認してください。

- バックドアが全開になっていること
- ラゲージルーム内に荷物などが置かれていないこと
- 車いす収納装置に車いすがセットされている場合、車いすのセットを解除して外に出す

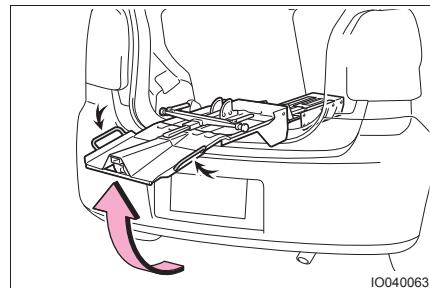
車いす収納装置の手動での格納のしかた

- ① 布などを用意して図の位置を両手で持つ
 - ① ベースフレーム左側を目安に布などを用意する
 - ② 左右の操作ハンドルを両手で持つ



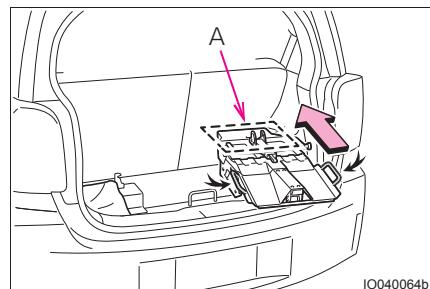
2 車いす収納装置が、水平になるまで持ち上げられることを確認する

- 両手で操作ハンドルを持って、無理な力をかけずに、持ち上げてください。
- 水平に持ち上げられなかった場合は、P. 87 の「水平に持ち上げられない場合の手動での格納のしかた」をご確認ください。



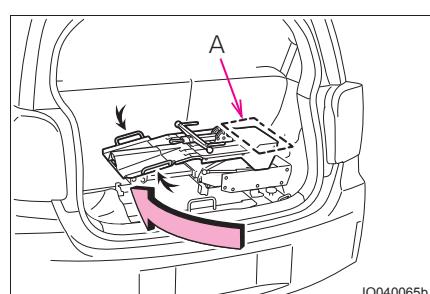
3 水平に持ち上げたまま、車内に押し込む

- 左右の操作ハンドルを両手で持った状態で押し込んでください。
- 車いす収納装置の「A」部は、おさえないでください。
- 押し込めなくなったら、必要以上に押さえつけないでください。



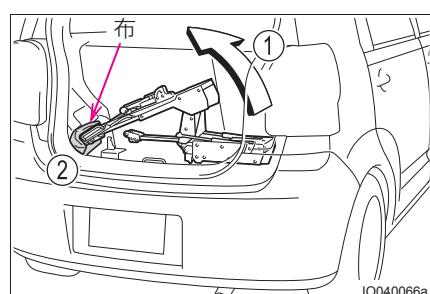
4 押し込みながら、車内に向かって回転させる

- 左右の操作ハンドルを両手で持った状態で、回転をしてください。
- 車いす収納装置の「A」部は、おさえないでください。
- 車いす収納装置が跳ね上がろうとするので、操作ハンドルから手を離さないでください。



5 車いす収納装置を跳ね上げた状態にする

- 手のちからをゆっくり抜いて、跳ね上げた状態にする
- 車いす収納装置を車内左側にあて、動かないことを確認する
先端に布などを挟み、車内を保護してください。



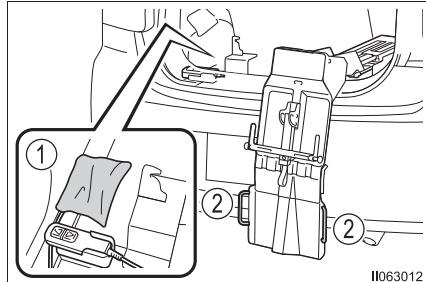
水平に持ち上げられない場合の手動での格納のしかた

完全に車外に出ていない位置で動かなくなってしまった場合は、車いす収納装置を水平に持ち上げることができないおそれがあります。

その場合は、次の手順で格納してください。

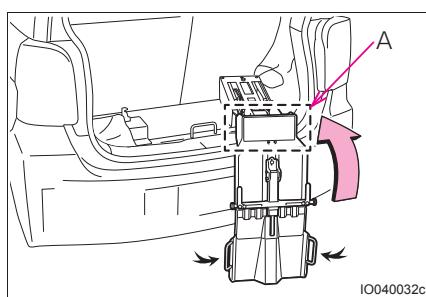
1 布などを用意して図の位置を両手で持つ

- ① ベースフレーム左側を目安に布などを用意する
- ② 左右の操作ハンドルを両手で持つ



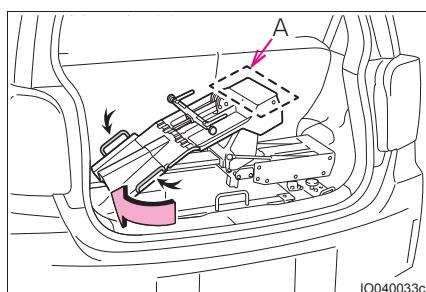
2 車いす収納装置を、持ち上げながら車内に押し込む

- ・左右の操作ハンドルを両手で持った状態で押し込んでください。
- ・車いす収納装置の「A」部は、おさえないでください。
- ・押し込めなくなったら、必要以上に押さえつけないでください。



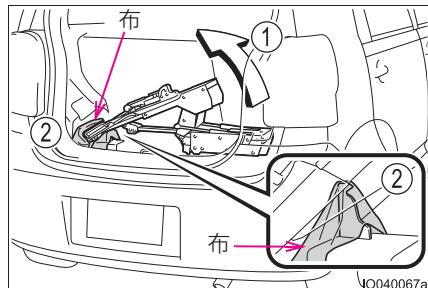
3 押し込みながら、車内に回転させる

- ・左右の操作ハンドルを両手で持った状態で押し込んでください。
- ・車いす収納装置の「A」部は、おさえないでください。
- ・車いす収納装置が跳ね上がろうとするので、操作ハンドルから手を離さないでください。



4 車いす収納装置を跳ね上げた状態にする

- ① 手のちからをゆっくり抜いて、跳ね上げた状態にする
- ② 車いす収納装置が動かないことを確認する
先端に布などをはさみ、車内とストッパーを保護してください。



知識

■ 手動格納時のベルトについて

車いす収納装置を手動で格納した場合、車いす収納装置内のベルトがゆるんで外に出ている状態になります。

トヨタ販売点で点検を受ける際には、ベルトの確認もご依頼ください。

■ 車いす収納装置の手動格納について

車いす収納装置を手動で格納した場合は、装置は完全に格納されません。

装置が押し込めなくなったら、必要以上に押さえつけないでください。

⚠ 警告

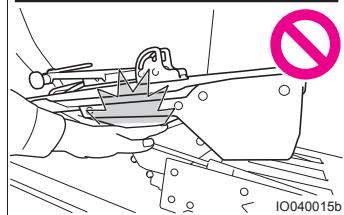
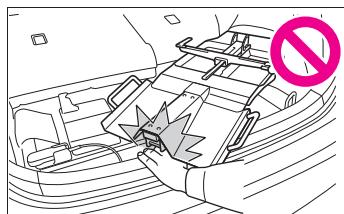
■ 修理が完了するまでは

車いす収納装置を使用しないでください。

■ 車いす収納装置を操作するときは

車いす収納装置を手動で格納するときは、可動部付近に手を置かないでください。

操作時に装置と車両のあいだに手を挟み、けがをするおそれがあります。



⚠ 注意

■車いす収納装置を手動で車内に格納するときは

- あらかじめ操作スイッチのコードをすみによけておいて、挟み込まないように注意しながら格納してください。
- 車いす収納装置を手動で格納した場合、車いす収納装置内のベルトが緩んで外に出ている状態になります。
ベルトを挟み込まないように注意しながら格納してください。

■破損・損傷を防ぐために

車いす収納装置を手動で格納した場合は、装置は完全に格納されません。

この状態で上から押さえつけたり荷物を置いたりしないでください。

内部の部品が変形し、故障の原因になります。



点検・整備項目

5

5-1. 点検・整備項目

定期点検整備.....92

定期点検整備

故障を減らして長く大切に使うために、定期点検整備をお願いします。点検結果を記録する際には、巻末の記録簿を A4 サイズにコピーして使用してください。

助手席回転チルトシート	点検整備項目	日常点検	点検時期		交換時期(年)	備考		
			自家用車					
			12か月ごと	24か月ごと				
チルトボタン								
チルト作動時の引っかかり			<input type="radio"/>					
チルトロックのガタ			<input type="radio"/>					
振出完了状態以外でチルトできないこと			<input type="radio"/>					
回転スライドレバー								
スライド操作時の引っかかり			<input type="radio"/>					
回転ロックのガタ			<input type="radio"/>					
スライドロックのガタ			<input type="radio"/>					
チルト状態で回転できないこと			<input type="radio"/>					
スライドレバー								
スライド作動時の引っかかり			<input type="radio"/>					
スライドロックのガタ			<input type="radio"/>					

* 空欄については点検および交換の必要はありません。

点検整備項目	日常点検	点検時期		交換時期(年)	備考		
		自家用車					
		12か月ごと	24か月ごと				
車いす収納装置	操作時の異常な動き・振動・異音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				
	駆動ベルト、ストラップの傷・ほつれ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		ほつれが始まったら交換		
	ダンパーの油漏れ		<input type="radio"/>				
	キャスター固定部の耐チップテープの破れ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				
	摺動部のグリス潤滑状態		<input type="radio"/>		引っかかり・異音がある場合、必要に応じて給油		
車ベル固定	ベルトの傷・ほつれ	<input type="radio"/>			ほつれが始まったら交換		

* 空欄については点検および交換の必要はありません。

さくいん

こんなときは (症状別さくいん).....	96
五十音順さくいん	100

こんなときは（症状別さくいん）

お困りの際は、トヨタ販売店にご連絡いただく前にまず次のことを確認してください。

助手席回転チルトシートについて



助手席回転チルトシートが回転できない・途中で停止する

- 助手席回転チルトシートの前後位置がいちばん前ですか？
（→ P. 26, 29）
- 助手席回転チルトシート回転時の手の位置・力のかけ方は合っていますか？（→ P. 29, 34）
- 助手席回転チルトシートのチルトをもどし終わっていますか？
（→ P. 31, 34）



助手席回転チルトシートがチルトできない・途中で停止する

- 助手席回転チルトシートが回転完了位置でロックされていますか？
（→ P. 28, 29）
- 助手席回転チルトシートが下にチルトし始めてすぐに、チルトボタンから指を離していませんか？（→ P. 29）
- 助手席回転チルトシートのチルトをもどし終わる前に車内に回転させていませんか？（→ P. 34）



助手席回転チルトシートがロックしない

- 回転スライドレバーを操作したまま助手席回転チルトシートを回転させていませんか？（→ P. 29, 34）
- 助手席回転チルトシートのチルトが完了する前にチルトボタンから指を離しましたか？（→ P. 29, 34）



助手席回転チルトシートを車外に回転させている途中でチルトが下がった

- 助手席回転チルトシートが車外に回転完了位置まで回転させる前にチルトボタンを押していませんか？（→ P. 29）



助手席回転チルトシートを下にチルトさせたとき、同時にシートが回転してしまう

- 車外の回転完了位置より少し手前で、助手席回転チルトシートを下にチルトさせていませんか？（→ P. 29）



回転スライドレバー・チルトボタンが固くて操作できない

- シート回転方向に力を加えた状態で回転スライドレバーを引いていませんか？（→ P. 29）
- 助手席回転チルトシートのチルトをもどす方向に力を加えた状態でチルトボタンを押していませんか？（→ P. 35）
- 助手席回転チルトシートの前端に座っていませんか？（→ P. 30）

車いす収納装置について（B タイプ）



回転させることができない

- ラゲージルーム内は何も置かれていない状態になっていますか？
（→ P. 50）
- 車いす収納装置が止まるまで操作スイッチを押しましたか？
（→ P. 51, 53, 60, 62, 77）
- 車いす収納装置を跳ね上げた状態からもどしたときに、ロックハンドルを完全に締め込みましたか？（→ P. 71）



車外に出すことができない

- 車外に向かって完全に回転させていますか？（→ P. 51, 61, 77）
- 操作の途中で、車外側から少しでも回転がもどっていませんか？
（→ P. 55）



車内に格納することができない

- スペーサーが見えている位置にありますか？（→ P. 77）
- 車いす収納装置に搭載できる重さをこえていますか？
（→ P. 40, 48）



車内に格納してから左にスライドできない

- 車いす収納装置を車内側へ止まるまで回転させていますか？
（→ P. 53, 62, 77）



車いすの固定・取り外しができない

車いすが干渉して格納できない

- 所定サイズ以外の車いすを格納していませんか？（→ P. 40）
- 使用する車いすに合わせてキャスター固定ガイドを調整していますか？（→ P. 55）
- 平坦な場所で、車いすの後輪が地面につくまで車外に出していますか？（→ P. 59）



車いす収納装置が操作スイッチと逆の動きをした

- 車外に出しているときに、ベルト確認用窓から黄色いベルトが出てきてから、さらに操作スイッチを「下」に押し続けていませんか？（→ P. 79）
- 車内にもどしているときに、ストッパーの▶マークの位置にあたってから、さらに操作スイッチを押し続けていませんか？（→ P. 79）



車いす収納装置が動かない、または作動中に停止した

- 車いす固定ベルトか車いす収納装置固定ベルトが引っかかっていますか？（→ P. 51）
- 操作スイッチの押しすぎにより、作動が逆転しかけていませんか？（→ P. 79）
- 連続で使用して車いす収納装置が熱くなっていますか？（→ P. 55）
- バッテリーがあがっていたり、はずしていたりしていませんか？（→ P. 80）
- ヒューズが切れていますか？（→ P. 74）

五十音順さくいん

あ

アームレスト	20
安全なドライブのために	
車いすの固定について	14
助手席回転チルトシート について	10

か

ガードマット	42, 46
回転スライドレバー	26, 32
回転スライドレバーが 引けなくなったとき	83

き

緊急時の対処法	
車いす収納装置が 車外に出た状態で 動かないときは (B タイプ)	85
助手席回転チルトシートが 車外に出た状態で 動かないときは	81

く

車いす	
収納可能なサイズ	40
車いすの取り扱い (A タイプ)	
車外への出しかた	46
収納・固定前の準備	38
収納のしかた	42
車いすの取り扱い (B タイプ)	
車いす収納装置	48
車外への出しかた	60
収納・固定前の準備	38
収納のしかた	50
操作スイッチ	48, 49
車いす固定ベルト (A タイプ)	
解除のしかた	42, 46
固定のしかた	43, 47
車両への取り付け	39
車いす固定ベルト (B タイプ)	
解除のしかた	50, 60
固定のしかた	54, 64
車両への取り付け	39

車いす収納装置

動かないときは	77
キャスター固定ガイド	48
車いす固定ベルト	48
車いす収納装置固定ベルト	48
車いすのセットのしかた	52
作動が逆になったときは	79
車外に出すときは	50, 60
車外に出た状態で	
動かないときは	85
車内にもどすときは	53, 62
ストラップ	48
操作スイッチ	48, 49
操作ハンドル	48
跳ね上げ取手	68
跳ね上げるときは	67
ベルトガイド	48
ベルト確認用窓	48, 79
ベースフレーム	69
ユニット固定ベルト	38
ロックハンドル	68
車いす収納装置固定ベルト	48
車いす収納装置の跳ね上げ	67

こ**故障かな？とお考えになる前に**

車いす収納装置が動かないときは (B タイプ)	77
助手席回転チルトシートが 動かないときは	76
ヒューズの交換 (B タイプ)	74

し

シートベルト	21
収納可能な車いすのサイズ	40
使用工具について	81
助手席回転チルトシート	
アームレスト	20
回転スライドレバー	26, 32
故障かな？と お考えになる前に	76
シートベルト	21
車外に出すときは	26
車外に出た状態で	
動かないときは	81
車内にもどすときは	31
スライドレバー	16
操作をするときは	23
正しい乗車姿勢	22
調整	16
チルトがもどせなくなった とき	82
チルトはもどせるが 回転スライドレバーが 引けなくなったとき	83
チルトグリップ	28, 31
チルトボタン	28, 31
ヘッドレスト	18
リクライニングレバー	16

す

スライドレバー 16

そ操作スイッチ
(車いす収納装置) 48, 49**た**

正しい乗車姿勢 22

ちチルトがもどせなくなったとき 82
チルトグリップ 28, 31
チルトボタン 28, 31**て**定期点検整備記録簿 卷末
デッキボードの開閉 66
点検・整備項目
定期点検整備 92**ひ**

ヒューズ (B タイプ) 74

へ

ヘッドレスト 18

ま万一の場合には
故障かな?とお考えに
なる前に 74**ら**ラゲージルーム内装備
デッキボードを開閉する
ときは (A タイプ) 66
車いす収納装置の跳ね上げ
(B タイプ) 67**り**

リクライニングレバー 16

お問い合わせ、ご相談は
下記へお願ひいたします。

トヨタ自動車株式会社 お客様相談センター
全国共通・フリーコール

0800-700-7700
フリーコール

オーブン時間 365日 9:00~18:00

所在地 〒450-8711 名古屋市中村区名駅4丁目7番1号

ご愛用車のお問い合わせは、自動車検査証（車検証）をご用意頂くとスムーズな対応が可能です。

「個人情報保護方針」については、
<http://www.toyota.co.jp> にて掲載しております。

「リコール等情報」については、
<http://toyota.jp/recall/index.html> にて掲載しております。

トヨタ自動車株式会社
<http://toyota.jp>

トヨタ ウェルキャブシリーズ

W-097



M 52D63
01999-52D63
ZI-2019年6月26日
2019年7月3日 初版
ボルテ／スペイド
助手席回転チルトシート車